

令和5年8月1日
近畿運輸局
近畿地方整備局
一般財団法人関西観光本部

大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプランを改訂 ～「交通」の視点を追加 4つの視点で地域をつなげる～

関西の観光・交通の回復に向けて、大阪・関西万博を最大の好機と捉え、国が支援・実施する取組の方向性と重点的に取り組む事業等について、近畿地方整備局・近畿運輸局・関西観光本部の3者で「大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプラン」を策定しています。

今般の改訂で、観光政策と交通政策の一体的な推進をより加速させるべく「交通」の視点を追加し「4つの視点」で地域をつなげることで「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを目指します。

地域をつなげる4つの視点：「テーマ・ストーリー」「人材」「情報」「交通」

- テーマとストーリーで地域をつなげる
【取組例】淀川における舟運を活かした賑わいづくり
- 人材で地域をつなげる
【取組例】地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり
- 情報で地域をつなげる
【取組例】関西 MaaS の構築に向けた取組
- 交通で地域をつなげる
【取組例】関西広域周遊バスツアーの商品造成に向けた実証事業

(資料1)「大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプラン」概要

(資料2)「大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプラン」本編 / 2023年度実施事業紹介

【配布先】

青灯クラブ、大阪経済記者クラブ、大手前記者クラブ、近畿建設記者クラブ

【問い合わせ先】

○アクションプラン全般に関する問い合わせ

近畿運輸局 観光部 立溝・笹尾・齋藤

電話：06-6949-6411

○インフラ整備事業に関する問い合わせ

近畿地方整備局 企画部 大國

電話：06-6942-1141 (内線 3114)

○関西観光本部実施(連携)事業に関する問い合わせ

(一財)関西観光本部 総合企画室 奥野

電話：06-6223-5400

- 関西の観光・交通の回復に向けて、「大阪・関西万博」を最大の好機と捉え、国が支援・実施する取組の方向性と重点的に取り組む事業等について、近畿地方整備局・近畿運輸局・関西観光本部の3者で「大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプラン」をとりまとめた
- 「テーマとストーリー」「人材」「情報」「交通」の4つの視点で地域を「つなげる」ことで、関西の魅力を最大限発揮し、「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを目指す
- 大阪・関西万博が開催される2025年に向け、観光立国推進基本計画（第4次）に基づき関西から観光を復活させる

「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりの実現

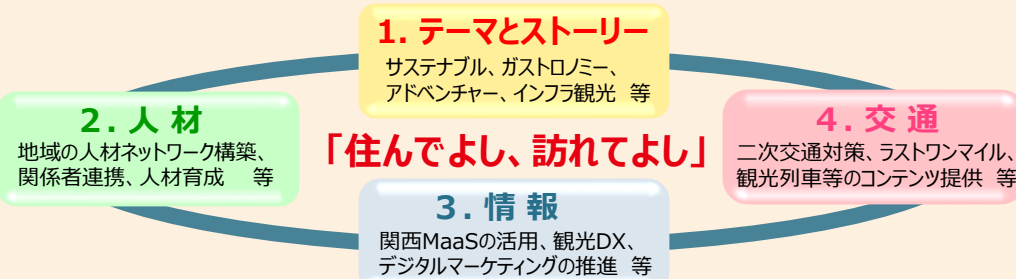
【基本的な方針】 第4次観光立国推進基本計画（2023～2025年度）

- (1) 持続可能な観光地域づくり戦略
- (2) インバウンド回復戦略
- (3) 国内交流拡大戦略

地域の更なる魅力向上を通じて、旅行者・地域住民の双方の好循環によって「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを実現

関西観光の活性化に向けた4つの視点

関西のポテンシャルを最大限発揮すべく4つの視点で地域を「つなげる」



関西全体をパビリオン化

- 万博開催に合わせて、関西全体をパビリオン化することで万博来場者の関西周遊を促進
- 万博来訪を利用した誘客を行うため「関西観光展」を実施し、地域性を活かしたコンテンツ造成や観光の高付加価値化等の取組を推進
- 関西MaaSを活用し、地域内外のシームレスな移動サービスの提供を促進

【取組例】

- ◆ 大阪・関西万博のテーマ・コンセプト及びSDGsを意識したコンテンツ提供や特別イベント等の実施
- ◆ 地域内外の移動に「関西MaaSアプリ」を活用することで交通機関利用を促進

【特別イベント等の取組例】



弘法大師座像公開



姫路城天守等公開



※地図：国土地理院地図を加工して近畿運輸局が作成

～3者が手を携え、取組効果を最大限に発揮～

近畿地方整備局

社会資本の整備

近畿運輸局

観光・交通政策の
一体的な推進

関西観光本部

広域連携DMOとして
取組を実施

万博の賑わいを、大阪の賑わい、関西の賑わいにつなげ、さらに全国へと拡げることで、関西から観光立国を復活！

大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプラン ～4つの視点で地域をつなげる～

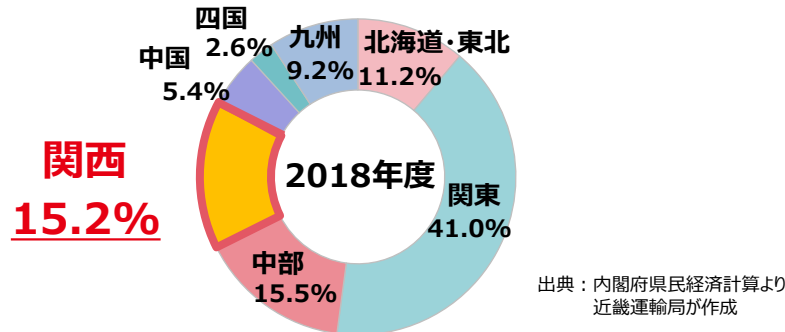
国土交通省 近畿運輸局
国土交通省 近畿地方整備局
一般財団法人 関西観光本部

コロナ禍前の関西観光

- これまで、人口減少下にある関西経済において、観光（特にインバウンドによる旅行消費）が地域経済を牽引してきた。
 - ▶ 日本のGDPに対する関西の域内総生産の割合 **15.2%**（2018年度）
 - ▶ 訪日外国人旅行消費額で全国に対する関西の割合 **28.8%**（13,873億円、2019年）
- 一方で、人気の高い京都・大阪への集中による混雑や関西への訪日旅行者数の70%以上を東アジアが占めるなどの偏りが、将来に向けた関西観光の発展の大きな課題となっていた。

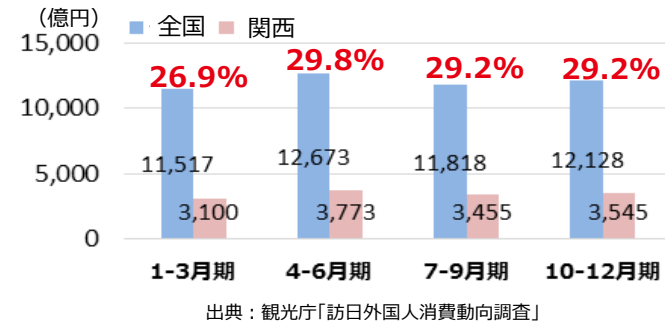
【全国の地域内総生産】

◆ 全国に対する関西の割合：15.2%



【訪日外国人旅行消費額（2019年）】

◆ 全国に対する関西の年間：28.8% / 13,873億円

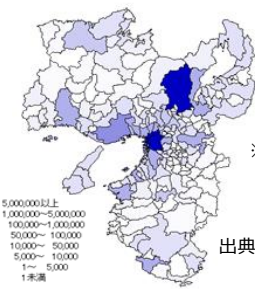
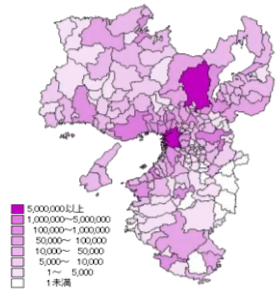


【訪日外国人昼夜間滞在者分布（2019年）】

◆ 訪日外国人は、昼間の活用時間帯及び夜間の宿泊時間帯ともに京都市と大阪市に滞在者が集中している

昼間帯（10時～18時）

夜間帯（2時～5時）



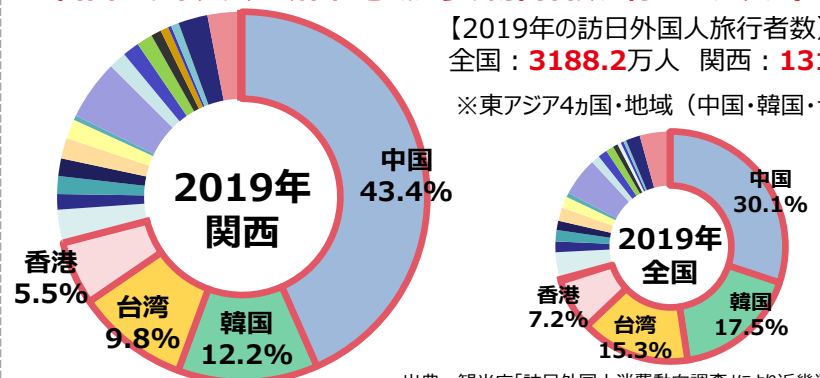
※滞在者は、観光・レジャー目的以外のビジネスや留学目的なども含む

出典：RESAS「外国人滞在分析」より近畿運輸局が加工・作成

【関西の訪日外国人旅行者割合（2019年）】

◆ 関西への東アジア4カ国・地域からの訪問者数 約937万人（70.9%）

【2019年の訪日外国人旅行者数】
 全国：3188.2万人 関西：1319.9万人
 ※東アジア4カ国・地域（中国・韓国・台湾・香港）



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」より近畿運輸局が作成
 複数回答のため府県別の合計と関西の数値は異なる

「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくり

旅行者が地域の文化や生業等に触れることで、地域住民もその価値を再認識し、自らの地域等を誇りに感じる

地域の更なる魅力向上を通じて、**地域住民・旅行者双方の好循環**を実現

観光立国推進基本計画（第4次）

大阪・関西万博に向け、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」をキーワードに3つの戦略に取り組む

- (1) 持続可能な観光地域づくり戦略
- (2) インバウンド回復戦略
- (3) 国内交流拡大戦略

(1) 持続可能な観光地域づくり戦略

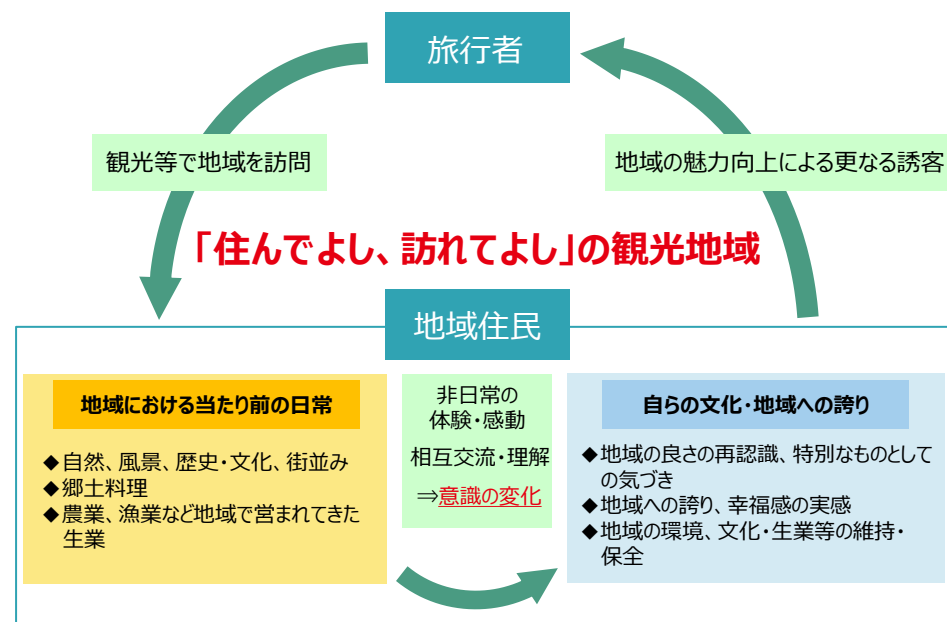
- 観光振興が地域社会・経済に好循環を生む仕組みづくりを推進
- 観光産業の収益力・生産性を向上させ、従事者の待遇も改善（稼げる産業・稼げる地域）
- 地域住民の理解も得ながら、地域の自然・文化の保全と観光を両立（住んでよし、訪れてよし）

(2) インバウンド回復戦略

- 消費額5兆円の早期達成に向けて、施策を総動員
- 消費額拡大・地方誘客促進を重視
- アウトバウンド復活との相乗効果

(3) 国内交流拡大戦略

- 国内旅行の実施率向上、滞在長期化
- 旅行需要の平準化と関係人口の拡大につながる新たな交流需要の開拓



現在の関西観光と課題

- 新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行したことを受け、3年余り続いた国のコロナ対策は大きな節目を迎えた。今後、インバウンドの増加等に伴い、地域経済の活性化が期待。
- 一方、物価高騰や人手不足が深刻な問題となっており、観光DXの推進、観光産業従事者の待遇改善、地域一体となった面的な観光地の再生・高付加価値化、地域の稼げる看板商品の創出、デジタル人材の育成など、官民の連携により取組を進める必要がある。
- また、地域の主要交通結節点までの移動（一次交通）が確保されている場合でも、観光地までのアクセス（二次交通）は、土地勘の無い旅行者には不十分な場合が多く、現地までの移動が困難という理由で来訪機会を逸している地域が少なくない。

【正社員の人手不足割合（上位10業種）】

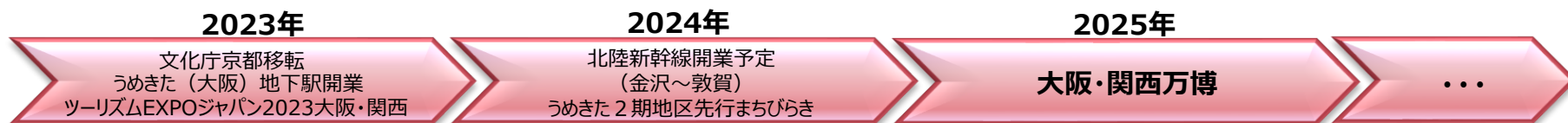
	2021年4月	2022年4月	2023年4月
1 旅館・ホテル	23.5	↑ 52.4	↑ 75.5
2 情報サービス	54.1	↑ 64.6	↑ 74.2
3 メンテナンス・警備・検査	55.6	↑ 60.1	↑ 67.6
4 建設	54.5	↑ 59.4	↑ 65.3
5 人材派遣・紹介	37.1	↑ 58.0	↑ 64.3
6 自動車・同部品小売	50.0	↑ 58.4	↑ 64.1
7 運輸・倉庫	42.3	↑ 52.2	↑ 63.1
8 飲食店	27.6	↑ 56.9	↑ 61.3
9 リース・賃貸	34.7	↑ 46.5	↑ 60.7
10 医療・福祉・保険衛生	44.4	↓ 43.4	↑ 58.3

※母数が20社以上の業種が対象

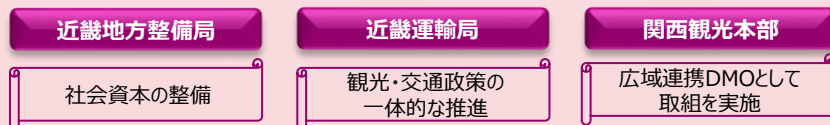
出典：帝国データバンク「人手不足に対する企業の動向調査」

関西からの観光立国の復活に向けて

- 関西では、大阪・関西万博等各種イベントが予定されているところ、関西の力を最大限に発揮すべく、行政・DMO・地域・企業等による「ONE 関西」の旗印の下、関西が一体となって取り組むための基本方針「関西ツーリズムグランドデザイン2025」が2022年3月に策定。
- 更に、関西の観光・交通の回復に向けて、国が支援・実施する取組の基本的な方向性と、重点的に取り組むべき事業等について、近畿地方整備局・近畿運輸局・関西観光本部の3者で「大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプラン」をとりまとめた。
- 関西観光アクションプランに沿った様々な事業での新たなコンテンツ造成やICT技術等の活用に取り組むことにより、旅行需要・移動需要を創出し、旅行消費を拡大させ、万博の賑わいを全国へ広げ、関西から観光立国の復活を目指す。



～3者が手を携え、取組効果を最大限に発揮～



万博の賑わいを、大阪の賑わい、関西の賑わいにつなげ、さらに全国へと拡げることで、関西から観光立国を復活！

- 関西は、長い歴史と伝統文化・豊かな自然など多彩な地域資源を有し、かつ、個性ある都市が利便性の高い交通ネットワークでコンパクトに結ばれている。さらに、日本の玄関口の一つである関西国際空港を有しており、広域周遊拠点として高いポテンシャルを持つ。
- こうした関西の地域資源を「点」ではなく「面」としてコーディネートしていくことが国際競争力のある観光地域として重要であることから、これら魅力ある地域資源と周遊拠点としてのポテンシャルを最大限発揮するために、「テーマとストーリー」「人材」「情報」「交通」の4つの視点で地域を「つなげる」ことで、「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを目指す。

4つの視点で地域を「つなげる」

1. テーマとストーリー で 地域を「つなげる」

世界遺産を含む有形・無形の文化財をはじめ、暮らしに息づく伝統・生活文化、四季折々の自然、多彩な食文化、歴史的建造物（古墳・城跡・社寺等）等の地域資源を活用して、共通のテーマとストーリーで地域をつなげる。

- サステナブル、ガストロノミー、アドベンチャー、歴史的資源の活用、ダム・橋・酒蔵・モノづくり・船旅・マリンレジャー（インフラ観光、産業観光、海事観光）等

2. 人材 で 地域を「つなげる」

これまで見逃されてきた地域資源を観光コンテンツとして活用していくため、地域のステークホルダーによる人材ネットワーク構築を促進する。また、DMOの人材育成や地域間の連携促進により、旅行者を面的に受け入れられる環境を整備するために人材で地域をつなげる。

- 地域の観光関係者を連携させるネットワークの構築を促進
- 関係者間のつながりやアップデートできていない地域情報の再構築 等

住んでよし
訪れてよし

4. 交通 で 地域を「つなげる」

観光に欠かせない移動「手段」として、地域間・地域内の移動利便性の向上を図るとともに、ラストワンマイルの課題解消に取り組む。また、観光列車や観光クルーズ等、移動を「目的」とした特別な観光コンテンツの造成に取り組む。地域と交通事業者が連携した取組の促進により交通で地域をつなげる。

- 二次交通の課題解消に向けた新たなモビリティサービスやラストワンマイル・モビリティの拡充検討
- 観光列車・観光クルーズ・周遊バス等、「移動」をテーマにした観光コンテンツの造成 等

3. 情報 で 地域を「つなげる」

コロナ禍で変容している観光行動に的確に対応するため、様々なデジタル技術等を活用した観光パラダイムシフトや観光DXの導入等を加速させる必要がある。そのために、従来とは違う新たな観光に向けてCRMシステムの導入によるデジタルマーケティングの実施など情報で地域をつなげる。

- 関西MaaSの活用
- 観光DXの推進による観光産業の生産性向上 等

大阪・関西万博に合わせて「関西全体をパビリオン化」

大阪・関西万博は、関西の観光と交通を回復させる最大のチャンス

1970年の大阪万博以来、55年ぶりに大阪で開催される「大阪・関西万博」は、世界的な注目が高く、来場者約2820万人を想定している国を挙げて取り組む国際イベントであり、関西の観光・交通が復活するチャンスとして、この好機を最大限に活用する。

関西全体のパビリオン化（万博への取組）

- 万博期間に合わせて、**関西全体をパビリオン化**することで万博来訪者の関西周遊を促進
- 万博来訪者等をターゲットにした誘客に向け、各地域で「**関西観光展**」を実施し、地域性を活かした高付加価値な観光コンテンツの造成やイベントを開催
- 移動手段と観光情報等を一元的に提供するために「**関西MaaS**」を活用し、地域交通や新たなモビリティサービスによる利便性の向上を図る

例)



弘法大師生誕1250年
座像の限定公開 (2023年)



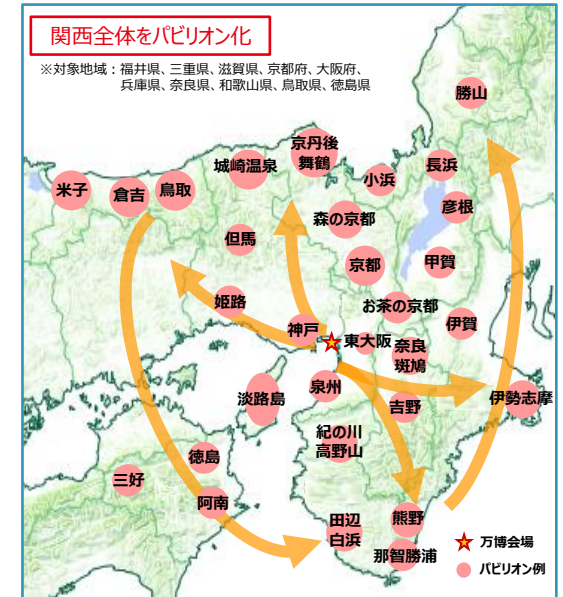
姫路城世界遺産登録30周年
天守等の限定公開 (2023年)



高付加価値な
インバウンド観光地づくり
新求力のある魅力的コンテンツ
(イメージ) 上質なインバウンド宿泊施設
(イメージ)



- 経路検索
- 運行情報
- 予約・決済機能
- 観光情報、施設情報
- サポート機能
- ・観光レコメンド機能
- ・アプリの多言語化 等



- ◆ 万博のコンセプトである「未来社会の実験場」やSDGsを意識した特別イベント等の実施（社寺の特別拝観、音楽祭、ライトアップ、イルミネーション、食フェスタ 等）
- ◆ 地域内外の移動や観光情報の発信に関西MaaSアプリを活用

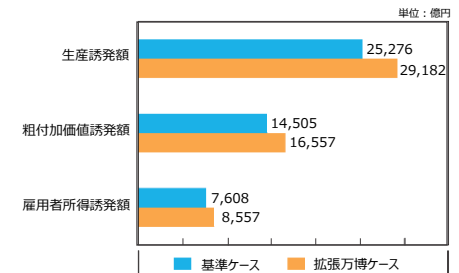
関西全体をパビリオン化した場合の波及効果

- 万博会場を中心として、関西全域に取組を拡げることで従来の万博以上の波及効果が期待できる
- アジア太平洋研究所によると、「基準ケース」（夢洲会場を中心として開催される場合）と「拡張万博ケース※₁」（関西全体をパビリオン化した場合）の経済効果を試算した結果、生産誘発額3,906億円、粗付加価値誘発額2,052億円、雇用者所得誘発額949億円の上振れとなる※₂

※₁ 拡張万博ケースでは、国内宿泊客は1泊延泊、訪日外客は3泊4日程想定から2泊延泊すると仮定している

※₂ 各誘発額（県内生産額、粗付加価値額、雇用者所得額）は、各産業部門が最終需要額（投資＋消費）によってどれだけ誘発されたものであるかを示したもの

【基準ケースと拡張万博ケースの比較】



出典：アジア太平洋研究所「関西経済白書2022」

観光に欠かせない移動「手段」の確保

- 誰もが気軽に利用できる公共交通機関は、通勤・通学等日常生活に欠かせない移動手段であるとともに旅行者にとっても重要な移動手段である
- しかしながら、運転者不足は深刻な状況で、また、特に地方部においては利用者数の減少にも歯止めがかからず、多くの地域でサービスの縮小が続いており、旅行者にとっては観光地までの交通手段（ラストワンマイル）が不十分な状況にある
- 自家用車や貸切バス等でメジャーな観光施設のみを「点」として巡る観光から、テーマやストーリーに沿って地域を「面」として巡る観光に転換していくために、住民・旅行者双方にとって使いやすい移動手段を提供する必要がある

乗合タクシーや自家用有償運送等のラストワンマイル・モビリティの充実、シェアサイクル、電動キックボード、小型モビリティ等の新たなモビリティサービスの導入支援によって、旅行者が便利かつ快適に目的地へと移動できる手段を提供

移動を「目的」とした新たな観光コンテンツの提供

- 近年、交通を移動の「手段」としてのみ捉えるのではなく、観光列車、観光クルーズ、観光周遊バス等、移動自体を観光の「目的」とした特別な観光コンテンツが人気を博している
- こうした取組の中には、地域のイベントとも連携し、鉄道の運転体験や地産地消の食材を用いた貸切クルーズなど独創的な取組を行う地域も現れている
- 旅行者に、より深く当該地域を知ってもらうことで、リピーターの獲得が期待できるほか、交通機関と関係者の連携を深め、定期的な交通アクセスの整備につながるといった効果が期待できる



鉄道運転体験



貸切クルーズの実施

「手段」としての交通と、「目的」としての交通を組み合わせることにより、旅行者・地域住民双方にとって使いやすい公共交通を実現することで、「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりを実現

観光政策と交通政策の一体的な推進により地域の活性化につなげる

2023年度実施事業

※令和5年度（2023年度）に実施の代表的な事業を掲載しています。

※掲載事業については随時更新しますので、最新のものは近畿運輸局HPをご参照ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kinki/koutsu/kankou/kansaiactionplan.html>



【テーマとストーリーで地域をつなげる】

世界遺産を含む有形・無形の文化財をはじめ、暮らしに息づく伝統・生活文化、四季折々の自然、多彩な食文化、歴史的建造物（古墳・城跡・社寺等）等の地域資源を活用して、共通のテーマとストーリーで地域をつなげる。

- 地域の自然・景観や遺産・資源等を適切に保護・保全しながら、旅行者にその魅力を提供可能とする持続可能な旅行商品の造成に取り組むことで関西広域への周遊を促す
- これまで、地域住民が意識していなかった物事や営み等を掘り起こし、観光資源として磨き上げる

《テーマ例》

環境・保全・持続性（サステナブル）、食・料理と伝統文化（ガストロノミー）、自然・国立公園（アドベンチャー）、古墳・古代建造物（歴史土木建築）、ダム・橋（インフラ観光）、酒蔵・モノづくり（産業観光）、船旅・マリンレジャー（海事観光）、アニメ・マンガ（サブカルチャー）等々

【2023年度事業】

淀川における舟運を活かした賑わいづくり

【淀川沿線地域】

淀川は古くから京都と大阪を結ぶ水上交通路として活用され、特に江戸時代に発展し流域に多くの文化が生まれた。京都・大阪は関西においての二大観光拠点であり、流域と連携した活用によって継続的な来訪や消費額拡大につなげることが可能となる。また、大阪・関西万博までに淀川大堰閘門が整備され、京都から大阪湾までの運航が可能となることから、万博会場へのアクセスも想定した京都～大阪を結ぶ淀川舟運のツーリズム化を推進する。

- 実施主体：近畿運輸局 / 近畿地方整備局 / 大阪府市 / 船舶事業者 他
- 活用事業：ポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業
（地方運輸局等実証事業）



河川遊覧のイメージ

和歌山城天守閣木造再建構想にかかる実現可能性調査事業

【和歌山県和歌山市】

和歌山城は御三家・紀州徳川家の居城であり、三層白亜の美しい天守閣は、姫路城、松山城と並んで日本三大連立式天守閣に数えられており、コロナ禍以前においては年間20万人超の入場があり、市の中心的な観光施設となっている。一方、天守閣は過去の鉄筋コンクリート造による再建から60年以上が経過しており、木造再建の可能性の検討を含め、各種課題の抽出を行うとともに、観光による地域振興に資する取組ができるのか同種の事例を参考に基礎資料及び検討課題の整理を行い、今後の新たなブランド獲得、満足度の高い地域の観光施策プランへとつなげていくための実現可能性調査を行う。

- 実施主体：近畿運輸局 / 和歌山県和歌山市
- 活用事業：将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たなレガシー形成事業



焼失前の天守閣
(昭和10年 旧国宝指定)



再建時半年で36万人が来場

神仏習合の祈りの聖地、石清水八幡宮での空中茶室「閑雲軒」の復活と男山四十八坊の賑わい創造にかかる実現可能性調査及びプラン策定事業

【京都府八幡市】

国宝・史跡である石清水八幡宮は、平安時代（貞観元年（859年））、八幡宮の総本社である宇佐神宮から男山の峰に勧請された、国内で現存する最大かつ最古の八幡造の神社建築であり、神仏習合の宮寺として、男山山腹には寺院坊舎が屋根を連ね、男山四十八坊として賑わった。坊の一つである茶室「閑雲軒（かんうんけん）」は、床面の殆どが空中に迫り出した「空中茶室」ともいべき構造であり、茶室として他に例を見ない、茶文化の象徴であった。失った豊かな文化の象徴としてかつての空中茶室を再現するとともに、賑わいを創出することを目的として「閑雲軒」及び男山四十八坊の活用方針、事業性、法的規制などのFS調査及びプラン策定を行う。

- 実施主体：近畿運輸局 / 京都府八幡市
- 活用事業：将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たなレガシー形成事業



男山全体像

日本海の護りの要・舞鶴湾に浮かぶ無人島「蛇島」を核としたレガシー形成構想 ～水軍から海軍へ 海の護りを支えた秘島～

【京都府舞鶴市】

水軍から海軍に至るまで日本海の護りの要所であった「蛇島（じゃじま）」には、「丹後水軍」の拠点であり京都府唯一の海域として若狭湾の航海の安全を保障し、交通・流通の秩序を支えた「蛇島城」の復元整備を検討するとともに、日本近代化の躍動を体感できる象徴的な島として整備を進め、遊覧船と連携した周遊コースを造成し、シンボリックな無人島を拠点に市内観光資源周遊の仕組みを構築し、旅行者を惹き付けるレガシーの造成を図る。

- 実施主体：近畿運輸局 / 京都府舞鶴市
- 活用事業：将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本の新たなレガシー形成事業



蛇島及び舞鶴湾

「世界に一番近い未来都市はんなん」で体験するCo-ベネフィット型未来都市の実現に向けた観光コンテンツ造成事業

【大阪府阪南市】

阪南市にある海浜空間や農空間等の様々な地域資源を活かし、旅行者が地域への貢献を実感でき、観光利用と地域資源の保全を両立する高付加価値な体験コンテンツ等の造成・提供を行うことで消費額増加や満足度の向上を図る。そのうえで、持続可能性の向上に資する好循環の仕組みづくりを実装し、課題抽出や解決を図ることで地域の価値継に承寄与する持続可能な観光の受入体制強化を目指す。

- 実施主体：近畿運輸局 / 大阪府阪南市
- 活用事業：持続可能性を核とした日本ならではの世界的価値の創出事業



すだて漁体験



グリーンカーボン
(茶畑)

五感で味わう日本の始まり 1泊2日飛鳥時代旅行 ～国宝キトラ古墳壁画特別公開と考古学ツーリズム～

【奈良県明日香村】

明日香法により守られてきた美しい里山景観のなかに、世界遺産暫定リストの構成資産など、6～8世紀の古代遺跡が数多く残る奈良県明日香村。世界遺産登録を見据え、日本ではまだ発展途上である海外にむけた考古学ツーリズムの造成と販売を実施し、歴史・景観資産を保全しながら地域の経済・自然・社会の循環を生み出す、明日香村らしいサステナブルツーリズムの実現を目指す。

- 実施主体：明日香村観光交流活性化事業実行委員会
- 活用事業：観光再始動事業



「法隆寺・世界文化遺産登録30周年」日本が世界に誇る仏教文化の特別な体験コンテンツ造成事業

【奈良県斑鳩町】

法隆寺・世界文化遺産登録30周年、第10回世界遺産サミットの開催地となる斑鳩町において、「法隆寺1400年歴史遺産を未来へ」をテーマに第10回世界遺産サミットの開催日を挟んで境内や参道をデジタルアートで演出、世界に誇る法隆寺から未来に向けた文化財保護及び環境保全のメッセージを発信する。法隆寺等で非公開の秘仏や体験を初めてコンテンツ化し、モニターツアーによる磨き上げ、地元ガイドの育成、多言語の案内ツール及びイヤホンガイドの整備、体験動画を活用したプロモーション、二次交通（ガイド+専用車）を体系的に展開、欧米豪・東アジアからの訪問客並びに富裕層を迎え入れる体制を構築する。

- 実施主体：奈良県斑鳩町
- 活用事業：観光再始動事業



World Golf Week in Hyogo 【兵庫県】

国内最大級のゴルフ場集積地である兵庫県で、世界中のゴルフ旅行者・日本在住の外国人ゴルファー・地域住民が交流する、世界初となる交流イベントを開催する。参加する10～30のゴルフ場で、設定した期間（1～2週間）に交流イベントを随時開催、旅行者はそれぞれの旅程の中で任意の期間（平均3泊4日（ゴルフ2R・観光1日）程度）に参加。併せてゴルフ場コンペルームで、兵庫県が大阪・関西万博に向けて展開するSDGs体験型コンテンツであるひょうごフィールドパビリオン関連の物販やワークショップを開催。観光日には、世界遺産登録30周年となる姫路城観光や播州地方の秋祭り・酒米の王者「山田錦」の稲刈り体験・刃物製造体験など地域に根ざした観光体験の機会を提供。

- 実施主体：公益社団法人ひょうご観光本部
- 活用事業：観光再始動事業



「比叡山歴史伝統の重みと新たな精進料理の融合DAININGOUT HIEIZAN」事業 【滋賀県大津市】

日本仏教の母山とも言われ、世界遺産でもある比叡山延暦寺では、1200年以上にわたり日本の文化成熟の一翼を担ってきており、本事業においてその日本文化の源流の一部を体験しつつも今日まで開催されたことのないインバウンドをターゲットとした高付加価値食のイベント「ダイニングアウト」を開催、単に高級な食事を提供するだけでなく、その土地の文化を探究し、地域が持つ食材など全てにおいて一貫性のあるストーリーに基づいた総合体験型の新たな食を提供することで継続性にも大きな期待ができる。

- 実施主体：比叡山観光再始動協議会
- 活用事業：観光再始動事業



「本物のお城で大名体験」国宝彦根城プレミアム貸切体験と旧彦根藩一体となったインバウンド促進事業

【滋賀県彦根市】

武士が統治し、260年平和を維持した江戸時代に、譜代大名筆頭として徳川幕府を支えた彦根藩井伊家の居城である彦根城。400年以上現存する国宝天守をはじめ名勝指定の大名庭園等、日本を代表する文化財を貸し切り、本物のお城でしか味わえない大名文化を体験。文化財の価値を海外に向け発信し、地域の関連団体、事業者と連携しながら文化財を活用した地域活性化を目指す。ターゲットは欧米富裕層に加え、アラブ富裕層取り込みを強化し、地域一体となってインバウンド受入体制整備を実施する。

- 実施主体：彦根城インバウンド推進協議会
- 活用事業：観光再始動事業



GIONプロジェクト2023

【京都府京都市】

平安時代から1000年以上続く「祇園祭」の開催期間（7月1日～7月31日）を重点的な期間とし、準備や巡行への参画、これまでにない設えの「プレミアム観覧席」での巡行鑑賞と、非公開寺院を貸切った食事や歴史・文化体験をパッケージにした体験イベントを造成インバウンド観光客に販売する。あわせて、世界遺産寺院等での夜観光イベントを実施し、祭期間中の滞在需要の拡大を図る。

- 実施主体：京都市観光協会 / 京都府京都市 等
- 活用事業：観光再始動事業



Culture&Art Moments @KYOTO

【京都府京都市等】

令和5年10月に開催されるArt Collaboration Kyoto (ACK) を核として、その開催前後期間をCulture & Art Moments @KYOTOと銘打ち、現代アートの視点からの高付加価値型文化観光体験プログラム・イベントを集中的に企画・実施し、アートに関心の高い富裕層をはじめ、多様なインバウンドの誘客につなげ、新たな富裕層向けビジネスを創出する。

会期：令和5年10月28日（土）～ 30日（月）

会場：国立京都国際会館

- 実施主体：Culture&Art Moments @KYOTO実行委員会
- 活用事業：観光再始動事業



文化観光体験のイメージ

平等院と萬福寺で開催するPremium Tea Kyoto事業

【京都府宇治市】

日常茶飯事という表現があるように日本茶には800年の歴史があり、こと宇治茶に関しては高級茶の産地として名声が高い。1000年の歴史を持ち、世界遺産登録をされている平等院とインゲン豆の由来となった隠元禅師によって淹茶法が伝えられ、国の重要文化財に指定されている黄檗山萬福寺を会場とし、日本人の心に触れるPremium Tea Kyotoを期間限定で開催をする。茶商が選んだ最高品質の呈茶、有形、無形文化の一体、非公開非日常的な特別な空間を創出し「お茶の京都」ならではの唯一無二のプレミアムな体験で、世界から訪れる人々をお迎えする。

- 実施主体：公益社団法人宇治市観光協会
- 活用事業：観光再始動事業



平等院の夜間特別拝観



特別な呈茶体験

国際的アートフェアを契機としたインバウンド旅行者向け高付加価値モデルルート創出事業 【京都府京都市ほか】

日本初開催となる世界水準の大型国際アートフェア「東京現代」を契機とし、日本の芸術や伝統芸能・文化などの観光資源の可能性を魅せる高付加価値インバウンド旅行者向けの今までにない新たな体験コンテンツ及びモデルルートを独自に開発するものである。アートフェア開催地の横浜に加えて、東京・京都を訪問先とし、現代アートならびに日本美術・文化の専門家とともに「非公開の文化財の公開」や「通常立ち入りが許可されていないエリア」の公開も含め、世界のVVIP・VIPが求めるAuthentic（真正）なコンテンツと特別な体験を提供し、参加者の日本への再訪と周圏への情報波及を狙う。本事業を通じ創出されたモデルルートをベースとしたツアーは、来年度の第2回東京現代時での実施を念頭に、2023年秋より販売を行う。

- 実施主体：国際アートフェアを起点としたインバウンド向けコンテンツ造成・機運醸成支援協議会
- 活用事業：観光再始動事業



両足院プライベートビューイング 細見美術館 茶室古香庵
© Tokyo Gendai © Tokyo Gendai

空港やアートスペースを活用して京都の美術工芸がさらに世界へ事業 【京都府、大阪府泉佐野市、大阪市 等】

今年中に関西国際空港の国際線ターミナル(T1)がリニューアルオープン、2025年に大阪・関西万博の開催が予定されている。このような状況において、関西国際空港の“出国手続き後の出国エリア”や“国際線到着動線エリア”等多くのインバウンド客が行き交うエリアに「京都美術工芸」を展示するというこれまでにないコンテンツを造成する。また、本展示において、①展示品の販売、②作家との交流の機会の2点を設ける。さらに、関西エリアだけではなく、関東（東京）でもアート事業に取り組んでいる寺田倉庫の展示販売施設(WHAT CAFE等)で同様の展示を行うことにより、京都美術工芸がアートの分野において世界的な認知の向上を目指す。今回の取り組みを通して、大阪・関西万博までに「京都美術工芸」がインバウンド向け観光コンテンツとして確立することを目指す。

- 実施主体：一般社団法人関西イノベーションセンター
- 活用事業：観光再始動事業



大槻能楽堂 presents スペクタクル薪能 in 四天王寺 ～伝統とテクノロジーの融合～

【大阪府大阪市】

1400年の歴史を誇る大阪の代表的な寺院である四天王寺の境内に特設能舞台を設置し、同寺を建立したとされる聖徳太子に縁のある演目の薪能を上演する。五重塔や金堂を背景にプロジェクションマッピングなどによる新しい演出を加え、歴史的、幻想的な空間を創出。スマートフォンを使用して日英の演目解説サービスも提供する。さらに付帯事業として、四天王寺収蔵の文化財と大槻能楽堂所蔵の能面・装束などの展示を組み合わせた期間限定の展覧会を同寺内施設で実施、同寺庭園内の茶室で抹茶と和菓子の提供、境内全体において大道芸のパフォーマンス・骨董市・蚤の市・屋台出店など祭りの賑わいを創出し、夜間の公演だけでなく昼間の集客も図る。

- 実施主体：公益財団法人大槻能楽堂
- 活用事業：観光再始動事業



プロジェクションマッピング演出の薪能

姫路の歴史文化1000年体感事業@姫路城&圓教寺

【兵庫県姫路市】

世界遺産「国宝姫路城」や西の比叡山と称される「書寫山圓教寺」など、姫路市内の特別な会場において伝統芸能の鑑賞や姫路の旬の食材を使った食事等を組み合わせたインバウンドの超富裕層をターゲットにした高付加価値なコンテンツを造成する。

- ① 姫路城を夜間に占有して行う姫路藩お抱え能楽師による能楽鑑賞や姫路城研究者の解説付き見学ツアー
- ② 圓教寺の国指定重要文化財を占有した修行体験や精進料理
- ③ 圓教寺境内での太鼓芸能集団「鼓童」の元メンバーによる和太鼓公演や百人の僧侶による天台声明の鑑賞
- ④ 姫路城西御屋敷跡庭園 好古園や姫路文学館望景亭（国登録有形文化財）を占有した特別な食事

- 実施主体：姫路市観光再始動事業推進協議会
- 活用事業：観光再始動事業



姫路城大天守からの夜景 圓教寺での天台声明 ライトアップされた好古園

夜間の世界遺産「法隆寺」で開催するオペラ公演「ジャパン・オペラ・フェスティバル2023」高付加価値化事業

【奈良県斑鳩町】

世界遺産「法隆寺」を舞台に本場イタリアのオペラを上演する「ジャパン・オペラ・フェスティバル2023」。夜間の法隆寺境内を貸切にして、ヨーロッパの文化であるオペラを実施することにより、日本文化を代表する「文化財」とヨーロッパの芸術を代表する「オペラの舞台芸術」双方の視点から訴求を行う。文化財の魅力を深く伝える手段として「法隆寺の文化財修復技師と巡る法隆寺建築ツアー」を、より深くオペラに親しんでいただくための手段として「オペラ専門家からの解説／開演前バックヤードツアー／演者との交流会」を企画し、高付加価値化を目指す。

- 実施主体：公益財団法人さわかみオペラ芸術振興財団
- 活用事業：観光再始動事業



1300年の歴史を有する名刹で本格的な「茶の湯」を茶道家元等の協力の下、体験できる高付加価値商品を造成！

【奈良県奈良市、桜井市、平群町】

奈良は、我が国の歴史文化のはじまりの地であり、1300年前から先人の弛まぬ努力により貴重な文化財、伝統文化を受け継いでいる。日本の歴史、文化に関心の高い富裕層をはじめとした外国人観光客に対し、これら日本文化の神髄と言える歴史・文化資源を体感できる機会（体験コンテンツ）を創出し、インバウンド誘客の起爆剤とする。特に日本が世界に誇る「茶の湯」文化は「奈良が発祥」であり、県内社寺では多くの歴史文化的価値のある茶道具等を保有している。茶道家元等の協力を得て、寺院境内の歴史ある茶室等で、奈良でしかできない特別な「茶の湯」体験を実施する。

- 実施主体：奈良県
- 活用事業：観光再始動事業



地域資源を生かした日本のポップファッションとアートのスペシャルイベント -TGC地方創生×天野喜孝-

【和歌山県和歌山市、福岡県北九州市】

日本最大級のファッションイベント「東京ガールズコレクション（TGC）」の地方創生プロジェクトとして、インバウンド客を対象とした、TGC初の試みとなるバックヤードツアー（バックヤードの見学・地産の食を体験できるケータリングブース等）付きのスペシャルシートを設ける。地方のユニークベニューを活用し、天野喜孝の作品「CANDY GIRL」とコラボレーションした様々な施策を長期的に開催する。「TGC和歌山」では和歌山城天守閣を舞台にファインアート展などの限定デジタルイマーシブ体験に加えて、TGCとCANDY GIRLコラボ着物の展示、限定アートの販売、初めての試みとなる和歌山ニットなどの地域の伝統産業との限定コラボアイテムや来場者限定の「CANDY GIRL」NFTの販売、配布を実施する。

- 実施主体：株式会社W TOKYO
- 活用事業：観光再始動事業



-KUNIKYO Wabisabi Experience- 幻の都「恭仁京（くにきょう）」でのインバウンド特別体験造成事業

【京都府木津川市】

日本の歴史を語るうえで要となる幻の都「恭仁京（くにきょう）」を舞台に、インバウンドに特化した体験を行う。「万葉集」の花木に着目した参加型インフィオラータ（フラワーアート）で色鮮やかな奈良時代の演出、当時のお茶（古茶）を幻の都「恭仁京」で味わい原始的なお茶や抹茶、煎茶など宇治茶の歴史を紹する野点（のだて）の開催、恭仁京での発掘体験の実施から、世界中の方に日本の歴史や文化の他、日本人の心の原風景と日本文化の本物を体感することで、主要観光地ではできない新たな地域の魅力を再発見できる機会を創出する。

- 実施主体：一般社団法人京都山城地域振興社
- 活用事業：観光再始動事業



JAPAN's World Cultural Heritage Annual

【京都市および全国の世界文化遺産地域】

日本全国にある世界文化遺産は、訪日外国人旅行者人気の観光地ベスト20中およそ半数を占める存在で、欧米豪に新たな国内の世界文化遺産と連携した取組みを実施・発信することにより、様々な国内世界文化遺産に目を向けさせ、誘客や訪問・滞在の動機付けに繋げる取組を、関西に本拠を構える一般社団法人世界文化遺産地域連携会議が中心となり実施する。異なる観光資源をこれまでにない形で連携させる試みとして、すでに「世界遺産歳時記」として提携関係にある諸行事により「最高の場所（世界遺産）で過ごす最高の1日」を7か月、シリーズでラインアップを形成し、かつ各催事ごとに世界遺産の特別な楽しみ方・特別公開・特別ツアーなどの演出を加える。

- 実施主体：一般社団法人世界文化遺産地域連携会議
- 活用事業：観光再始動事業



artKYOTO 2023

【京都府京都市】

2019年に初開催した「artKYOTO」は、世界遺産・二条城を舞台に国内外のギャラリー・美術商が厳選するアート作品を展示・販売するアートフェア。天井に重厚な梁が渡り、土間と板間が一体となった歴史を感じさせる特別な空間で、古美術や工芸、近代美術、現代アートなどの多様なジャンルの作品を展示・販売。本年は国内のギャラリーだけでなく、日本インドネシア国交樹立65周年を記念し、インドネシア人アーティストの招聘も予定。また、インバウンド観光客の誘客向上にも取り組み、千年を超えて日本の都であった京都から世界へ向けアートの可能性を発信する。

- 実施主体：一般社団法人アート東京 / 京都府京都市
- 活用事業：観光再始動事業



会場となる二の丸御殿台所外観



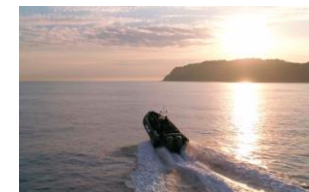
atrKYOTO 2019の様子

日本遺産「葛城修験」はじまりの地を巡る大阪泉州・和歌山市域の広域周遊型商品創出事業

【大阪府阪南市、岬町、和歌山県和歌山市】

大阪と和歌山の府県境にある和泉山脈は、日本遺産「葛城修験」はじまりの地。ここは古くから伝わる山岳信仰と仏教が混じりあうことでできた「修験道」で、点在する経塚や寺社など、地域固有の風景を地域資源として注目させ、この自然豊かな“修行の聖地”を巡る広域周遊型商品を創出する。ツアーは高品質と特別感を打ち出し、大阪泉州と和歌山市域が有する希少な食や温泉などの文化体験を組み込んだ、心身ともにリフレッシュできる体験コンテンツとして、ミドル富裕層をコアターゲットに訪日旅行客の誘客を図る。

- 実施主体：一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューロー
- 活用事業：観光再始動事業



世界初の橋泊！ 究極の明石海峡大橋インフラツアー、24時間橋を丸ごと体感

【兵庫県神戸市】

世界初、明石海峡大橋の橋泊。橋桁の中にある海面から47mの舞子海上プロムナードを一晚貸し切り、素晴らしい眺望とスリルを体感しながら宿泊。通常立ち入れない屈指のビューポイントである大橋の管理用通路からサンセット・夜景・サンライズを一度に鑑賞。また、大橋に手の届く所にある「国の登録有形文化財の旧武藤山治邸」と「太平のゆ」からライトアップされた大橋を眺めながら、明石海峡でとれたての魚と地酒のディナーと露天風呂を満喫し、貸切船で大橋を真下から眺める。

- 実施主体：公益財団法人兵庫県園芸・公園協会
- 活用事業：観光再始動事業



史上初！国宝第一号「十一面観音菩薩」のある聖林寺 境内夜間貸切コンテンツを軸とした高付加価値ツアーを造成！

【奈良県桜井市】

日本最古の神社「大神神社」由来の国宝第一号「十一面観音菩薩」のある聖林寺の歴史上初の夜間貸切拝観と酒造り発祥「大神神社」と三輪山を眼下に奈良酒とペアリングした特別ディナーを堪能するコンテンツを軸に高付加価値ツアーを造成。「古事記」「日本書紀」によると酒造り発祥の「大神神社」と酒の聖地「三輪」唯一の酒蔵と連携したこの地だからできるお酒のコンテンツ、長谷寺、安倍文殊院の国宝等を活用したコンテンツを創出。本事業のコンテンツを核としたツアーで、持続可能な地域経済に挑戦する。

- 実施主体：一般社団法人桜井市観光協会
- 活用事業：観光再始動事業



国宝
「十一面観音菩薩」



国宝
「長谷寺 本堂」

世界遺産へとつながる信仰の道、町石道を歩く。 ～1200年の歴史を堪能する 九度山 日本一（ひのもといち）ツアー～

【和歌山県九度山町】

高野山の麓に位置する九度山町において、歴史体験の提供、世界遺産慈尊院多宝塔の初の御開帳、高野紙を活用した和紙あかりでのライトアップ、九度山地産地消の特別ディナーの提供、高野参詣道である町石道のガイド付きハイキング＆ドライブ等をツアー化する。インバウンド自らのSNSなどで口コミ拡散を促進し、また観光情報・予約WEBサイトを立ち上げ、インバウンド向けSNSアカウントを構築運用することで、インバウンドの集客およびツアー案内情報とともに九度山～高野山を巡る世界遺産の魅力に触れるコンテンツ掲載を実施。九度山町内にある地産品のモノ消費やコト体験の提供を通じ、町の活性化を目指す。

- 実施主体：和歌山県九度山町
- 活用事業：観光再始動事業



世界遺産・高野山の、非公開芸術品・非公開空間を特別に活用した、芸術と音楽の祭典

【和歌山県高野町】

高野山を構成する塔頭寺院には、普段非公開の芸術品や庭園、特別室などの施設が多く眠っている。それらを特別に活用し、さらに現代アートや西洋音楽などとコラボレーションすることで、高野山の新たな魅力を発信する。寺院秘蔵の非公開芸術品と、それを元に現代美術家が再解釈して制作した新作アート作品による特別芸術展示や、非公開の寺院施設における西洋音楽のコンサートを中心とする特別音楽会の2企画で構成し、ライトアップなどで夜間コンテンツを創出、Night Lifeの充実を図る。また、課題となっている多言語表記の充実も図る。



- 実施主体：和歌山県高野町
- 活用事業：観光再始動事業 / 地域観光資源の多言語解説整備支援事業

日本三景の1つ「天橋立」をはじめとした美しい景色を楽しめるサイクルツーリズムを推進！

【京都府】

丹後天橋立大江山国定公園の大自然を活かした体験型・交流型の初のインバウンド向けのサイクルコンテンツとして、約2か月間、京都府北部をサイクリングによる周遊を促進するだけでなく、多言語表記やサイクルラックを備えたグローバルなサイクルステーション等、走行環境の整備等により、世界に誇るサイクリング環境を創出するとともに、国内外へのPR等を行い、サイクルツーリズムを推進するコンテンツとして、サイクルスタンプラリー及びロングライドイベントを実施することで新たなインバウンド誘致を実現する。



- 実施主体：京都府
- 活用事業：観光再始動事業

国宝仏像の修理見学を含む特別拝観と文化財保護に関する解説講座

【奈良県奈良市】

当事業では、創建1300年を誇る新薬師寺において、一般公開されていない仏像（重文）の特別拝観と、国宝である木造薬師如来坐像が二年に渡り修理が行われるのを機に、国宝文化財修理の様子を見学する特別拝観と文化財の保護・修理に関する解説講座を開講して、我が国における文化財を後世に伝えることの重要性とその取り組みを学べる付加価値の高いツアーとしてインバウンド向けに造成する。加えて、奈良町高畑地区の観光ガイドマップを作成し、新薬師寺周辺地域施設へインバウンドを誘導する取り組みを行う。

- 実施主体：西日本広域観光連携文化財活用奈良推進協議会
- 活用事業：観光再始動事業



新薬師寺での特別拝観

日本一の盆梅展の舞台・国指定名勝「慶雲館」を竹灯りと共に夜間特別公開！世界に一つ あなただけの盆梅作りから長浜の茶道・着物文化まで、訪日FIT向け体験開発・誘致実証事業

【滋賀県長浜市】

長浜市は、明治時代の鉄道遺産が認定された日本遺産、羽柴秀吉の城下町としての歴史文化、美しい自然と魅力が多い一方、訪日客は団体の宿泊のみがメインであり、周遊滞在・消費に課題がある。長浜には歴史・規模ともに日本一を誇る盆梅展があり、会場の「慶雲館」は国指定名勝でもある。本事業では、日本一の盆梅展の閉館後特別公開を実施、また年間を通して慶雲館を活用した長浜の茶道文化や着物文化を体感するコンテンツを開発し、台湾からの個人訪日旅行客の滞在と消費促進を実現する。

- 実施主体：公益社団法人長浜観光協会
- 活用事業：観光再始動事業



万博を契機とした"日本国際芸術祭"開催～アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創！

【京都府京都市】

2025年日本国際博覧会を契機に開催する新しい国際的な芸術祭として、文化庁が移転した歴史・芸術・文化の聖地「千年の都京都」を舞台に開催する。アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創がクリエイティブをまちなかに創り出し、いのち輝く未来を拓く日本国際博覧会が開かれる2025年に向けて、さらにその先の未来に向けて、日本から世界に発信する。メイン会場を世界文化遺産京都醍醐寺に据え、万博プロデューサーの企画も交え、京都市内・京都府内の画廊、工房、企業ショールーム、大学研究室、美術館等を繋いだ展開を想定。第1回の会期は2023年9月1日～10月15日まで。2024年、2025年、万博開催後の2026年、2027年と毎年継続していく予定。



- 実施主体：一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構
- 活用事業：観光再始動事業

『国宝・石清水八幡宮「NAORAI」と特別参拝』ユニークベニューに対するインバウンド販売モデルの構築

【京都府八幡市】

石清水八幡宮の旧儀「五節句」の祭祀と宴「直会（なおり）」を体験の軸に、2022年度に開発したコンテンツを、モダンラグジュアリー層を中心としたインバウンド富裕層に向け、精神的価値体験の満足度を最大化させるための演出・表現方法及び多様性・多言語に対応したコンテンツへブラッシュアップを図るとともに、ターゲットに対し効果的なプロモーション・販売体制等の構築を目指す。

- 実施主体：一般社団法人京都山城地域振興社
- 活用事業：インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業



日本の祭りの特徴「神人共食」の精神を体験する直会

阪南市の食の資源と暮らし文化を組合わせたガストロノミー・ツーリズムの商品造成事業

【大阪府阪南市】

阪南市は、関西国際空港から20分の好立地で、大阪湾で初めて養殖に成功した牡蠣や大阪最古の日本酒、G20大阪サミットで各国首脳にもふるまわれた黒毛和牛がある。これらの里海・里山が育んだ豊かな地域資源に、これまで育んできた人々の暮らし文化を組合わせ、単に食を味わうだけでなく、その背景を体験できるスポットに昇華することで来訪価値を最大化し、旅行消費額の向上を図る。大阪・関西万博の来訪客の取り込みを見据えた阪南市ガストロノミー・ツーリズムを展開し、集大成として阪南市が一つの万博パビリオンとなる「阪南グルメEXPO」を開催する。

- 実施主体：大阪府阪南市
- 活用事業：インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業



西鳥取漁港 牡蠣小屋



黒毛和牛「なにわ黒牛」

飛鳥の食文化を世界へ！「ガストロノミー・ツーリズム・飛鳥」を実現する上質な食体験コンテンツ造成事業

【奈良県明日香村】

過去の観光庁事業で造成の日本伝統食やメニューを活用した体験を対象に、世界無形文化遺産でもある「和食」や地域素材との融合によりインバウンド向けの上質な体験プログラムへブラッシュアップを図る。明日香村は全域が「通称：明日香法」により保全され、全国でも他に類をみない貴重な歴史的風土が残される美しい村である。田園風景を眺めながら豊かな土壌で育った伝統食を切り口として地元住民と交流し、共に過ごす体験をコンテンツディレクターのもとエスコートプランとして提供。明日香村商工会が扇の要となり、住民・民間事業者主体によるボトムアップ型の事業を推進することで、体験を通じて世界へ日本及び飛鳥の食文化の発信を行う。

- 実施主体：明日香村商工会
- 活用事業：インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業



地球にやさしく、人にやさしい旅のスタイル。甦りの地、和歌山を舞台にサイクリング・ビーチヨガ・SPAによる「サイクル&ウェルネスツーリズム」を東アジアマーケットに発信！

東アジアからサイクリストを誘客し、国内で活躍するサイクルライフナビゲーターがツアーナビゲーターとして案内しながら、国が認定する「ナショナルサイクルルート」を舞台に開催される「和歌山紀中サイクルフェスタHUB23」に参加し、サイクルイベント終了後に白浜ビーチのヨガ&SPAで心身のリラクゼーションを追求することにより、地球環境に負荷をかけない「サイクルツーリズム」と自身の心身リフレッシュを求める「ウェルネスツーリズム」の融合を行う。

- 実施主体：和歌山紀中みらい創造委員会
- 活用事業：インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業

【和歌山県印南町、美浜町、日高町、由良町、御坊市、みなべ町、日高川町】



和歌山紀中サイクルフェスタHUB23

日本酒を片手に京のエキスパートと語らう、伏見の清酒×京都伝統工芸のプレミアム体験

【京都府京都市】

令和3年度に国土交通省「川のみなとオアシス 水のまち 京都・伏見」に登録され、大阪万博やIRを見据えた更なる賑わいを目指す街、伏見。インバウンド層を誘客するため、世界の富裕層をもてなす特別体験として、380年余の歴史をもつ旧蔵元本店を使い、伏見の清酒を京都の伝統工芸品を使っていただける上質な時間を用意。京料理・日本酒など各エキスパートとお酒を片手に語らい、京都の文化・技術を学ぶ大人の時間を提供し、今だけ・ここだけ・あなただけのプレミアムな体験を造成する。

伏見の清酒



京都伝統工芸



京焼



京漆器

等々

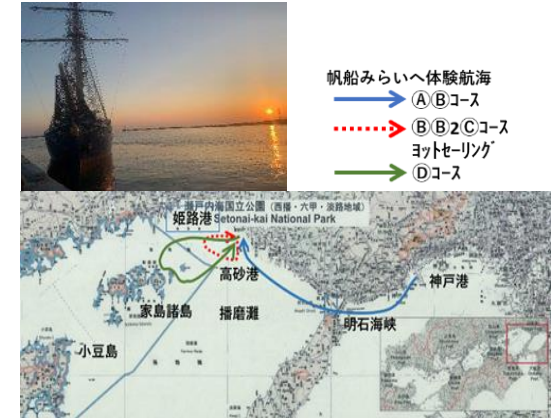
- 実施主体：特定非営利活動法人伏見観光協会
- 活用事業：インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業

松右衛門帆ゆかりのまち 高砂海文化体験推進事業

【兵庫県高砂市】

海をテーマに、北前船寄港地・船主集落でもあり、北前船の帆として使用された松右衛門帆のゆかりの地である高砂を拠点に、帆を動力源とする帆船やヨットのセーリングの体験と歴史的建造物が残る高砂のまち並み散策のコンテンツを2025年の関西万博を見据え、インバウンド対応も含めて開発及び充実を図る。日本で唯一、一般の方が自由に乗ることができる帆船『みらいへ』やクルーザーヨットなど通常乗船できない付加価値のある船舶を使用した体験を実施。

- 実施主体：特定非営利活動法人高砂海文化21C
- 活用事業：インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業



世界遺産“吉野”主要構成要素「道」を活用したサイクリング・トレイルルート造成・販売事業

【奈良県吉野町】

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の主要構成要素である「道」を最大限活用し、インバウンド誘客を促進するため、移動そのものを滞在価値の一つと捉え、外国人及び専門家目線でサイクリングルートの磨き上げ、新たにトレイルルートを作成することにより、滞在時間の延伸とコンテンツの付加価値化による観光消費の増加を図る。

- 実施主体：一般社団法人吉野ビクターズビューロー
- 活用事業：インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業



ツアーイメージ

有田市体験コンテンツ造成事業

【和歌山県有田市】

先人から継承された、みかん産業と漁業。今は、観光資源としての活用は少ないが、2025大阪・関西万博をチャンスと捉え、この2つを観光コンテンツとして磨き上げ、体験観光コースを造成することで、インバウンドをターゲットにした誘客促進を図るとともに、人や文化、経済の交流を創出する。外国人観光客の来訪が少ない地域のため、ワークショップや講座等を重ねることで、インバウンド受け入れ環境やおもてなしスキルの向上を図る。また、有田市の情報を日本だけでなく世界へ発信するため、造成した体験観光コースは商品化し、日本国際博覧会協会が構築予定である観光ポータルサイトなどへの掲載を目指す。



観光コンテンツ（有田みかん、太刀魚）

- 実施主体：ALL ARIDA 協議会 2025
- 活用事業：インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業

いにしへの参詣道 世界遺産「海・山・川の熊野古道」を活用したインバウンド誘客促進事業

【和歌山県新宮市】

新宮市は、豊かな自然や魅力ある歴史・文化を有しているところであり、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」が2024年に登録20周年を見据える中、世界遺産を核としつつ、Eバイクや世界遺産である熊野川や川の参詣道での川舟下り、地元グルメ体験などの体験コンテンツや多言語に対応したガイドングをコースに取り入れ、地域の魅力向上を図るとともに、全国籍・全世代が楽しむことができる安全・安心・快適でSDGsな観光コンテンツの造成を図る。また、新たなインバウンド向け体験コンテンツの造成を行うとともに、インバウンド集客に有効かつ効果的であるOTAへの登録を推進する。さらに、インバウンド受入体制の強化のため、観光ガイドや地元事業者を対象としたセミナーや研修会などを開催するとともに、インバウンドを中心とした誘客促進を図るためのプロモーションを展開する。



- 実施主体：和歌山県新宮市
- 活用事業：インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業

南紀熊野ジオパーク周遊観光におけるインバウンド向けコンテンツ改善と販路基盤整備事業

【和歌山県那智勝浦町・古座川町・串本町】

訪日回数が多いインバウンド旅行者は、リピーターとして今まであまり知られていない地方、国立公園やジオパーク訪問を視野に入れている。本事業ではバス予約システムやパンフレットの英語化の実施、インバウンド旅行者目線に立ったツアーガイドラインの策定、ジオパークガイドの英語力向上に取り組み、地方部におけるインバウンドの可能性と重要性を地域に浸透、インバウンドに対応できる自然・アクティビティ・文化体験の質を向上を目指す。



- 実施主体：熊野御坊南海バス株式会社
- 活用事業：インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業

地域に通う、心が通う、課題解決型ラーニングツーリズム ～来訪者と地域住民が守り育てる第2のふるさと～

【京都府南丹市】

持続可能な観光の取り組みが国際的評価も受けた人口約3,400人の京都府南丹市美山町全域を学習のためのキャンパスとし、教育機関を新たな観光のターゲットとし、来訪者をまちづくりの協力者（準住民）と捉えて、何度も通うことで学びを深める地域密着の課題解決型ラーニングツーリズムを実施することで再訪、移住に繋げる。本事業では特に旅アトコンテンツ造成に注力する。令和4年度事業で明らかになった「地域行事への参加」の高いニーズに応えるため、茅刈り等の地域内の活動を来訪者も参加できるよう、地域振興会と連携してコンテンツ化し地域への「関わりしろ」や地域住民との偶発的な出会いを創出する。

- 実施主体：一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会
- 活用事業：「第2のふるさとづくりプロジェクト」モデル実証事業



地域課題で繋がる「しんせき学び旅プログラム」バスのサブスクでより身近に、より通いやすく。

【兵庫県新温泉町】

新温泉町を第2のふるさととして通いたくなる、通いやすくするために、新温泉町が第3の親戚がいる町として地域課題を解決することで、自分自身の学び直し、リスキングに繋げる「しんせき学び旅プログラム」を創出。京阪神から新温泉町へのアクセスを容易にする高速バスのサブスクサービス「新温泉町おかえりパス」、町内の各地域課題までのアクセスを容易にするコミュニティバスのサブスクサービス「新温泉町たんけんパス」に実験的に取り組み、再訪の効果を検証する。

- 実施主体：全但バス株式会社
- 活用事業：「第2のふるさとづくりプロジェクト」モデル実証事業



びわ湖の源流走井（はしり）の里で体感する「やまのある暮らし“ファザーフォレストライフスタイル”」構築実証事業

【滋賀県栗東市】

栗東市走井集落の地域資源や立地の強みである「すぐそこにある自然」を活かし、「森林や農業に触れる機会を創出し」、年間を通じて「あそび、体験、学びが可能なフィールドの提供」を行う。遊びに来る側でも、遊びを提供（催事等を運営する）側でも関わられる仕掛けを作り、栗東市走井集落での原体験がある近隣都市住民を増やし、関係性を維持していく。栗東市走井集落が、「地域住民に頼れる窓口（コンシェルジュ）がある」とともに、「濃すぎず、薄すぎず、それぞれの訪問者にとってほどよい距離感の人間関係を作れる」、それゆえに「気兼ねなく、何度も訪れることができる」ような、第2のふるさととなることを検証する。

- 実施主体：一般社団法人栗東市観光協会
- 活用事業：「第2のふるさとづくりプロジェクト」モデル実証事業



丹波焼窯元への陶泊による来訪促進実証事業

【兵庫県丹波篠山市】

コロナ禍を経て、「ものづくりの背景」を重視する消費者が増えているトレンドを踏まえ、時代時代の暮らしに寄り添うものづくりに取り組んできた丹波焼の産地である立杭の郷において、農山漁村滞在型旅行・農泊の陶芸版である「陶泊」の実証を行う。従来型の窯業産地に見られる窯元巡りや短期的なイベントではなく、作り手個人との深い交流を図ることで、親密感と特別感を演出し、「美意識を磨くために帰る場所（第2のふるさと）」として、立杭の郷と都市圏生活者との結びつきを深める。この結果、産地への滞在時間が増え、反復継続的な来訪による活性化を通して、地域の持続可能性確保につなげる。

- 実施主体：丹波立杭陶磁器協同組合
- 活用事業：「第2のふるさとづくりプロジェクト」モデル実証事業



桜からはじまる吉野の愛着人口増加プロジェクト

【奈良県吉野町】

修験道の本尊「蔵王権現」の御神木として献木され千年以上保護されてきた約3万本の吉野の桜は日本一とも称され、当地最大の強みであり、近春はインバウンドも増加。日本の宝「桜」の地“吉野”として国内外に発信し、桜を活用した何度も地域を訪れる旅を創出する。近年、国内企業において「越境学習」の重要性が増し、特にコロナ禍を経てレジリエンス（逆境から立ち直る力）を備えた、改革人材の育成ニーズが高まっている。そのような背景を踏まえ、幾度もの衰退の危機を乗り越え、桜の保全継承にとどまらず、新たな地域資源（価値）の創造を果たした歴史を、桜の育成・保全の担い手「桜守」との対話や保全活動等を通じて学ぶ、ラーニングワーケーションプログラムを造成することで企業研修等の誘致を図る。

- 実施主体：一般社団法人吉野ビジターズビューロー
- 活用事業：「第2のふるさとづくりプロジェクト」モデル実証事業



観光客が訪れる拠点整備等

- 日本風景街道、ナショナルサイクルルート、道の駅、みなとオアシス等を核にした観光地づくり
- ほこみち（歩行者利便増進道路）を活用した賑わいのある道路の構築
- 河川を軸に沿線地域のにぎわいを創出する河川ツーリズムの推進
- 道の駅において、「Wi-Fiの整備」「外国人観光案内所認定の登録促進」「キャッシュレス制度」の導入
- 巨大な建造物のダイナミックな景観やインフラ施設の役割やつくられた背景が楽しめるインフラツーリズム等の推進



インフラツーリズム（天ヶ瀬ダム）



道の駅（たいじ）

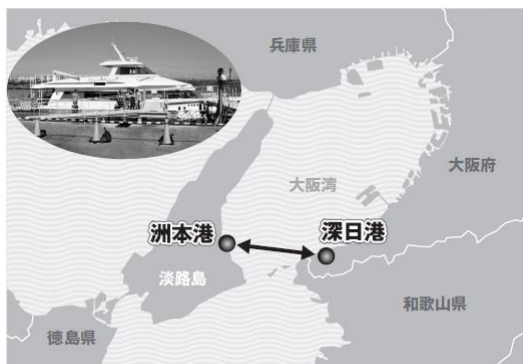
日本風景街道 熊野

観光客が訪れる拠点整備

深日港・洲本港の航路再開に向けた取組

【大阪府岬町、兵庫県洲本市】

- 大阪府岬町と兵庫県洲本市では、両市町を中心とした広域交流の促進と地域の活性化を図るべく、かつて結ばれていた旅客船の定期航路再開に向けた取組を進めている。
 - 2017年度から深日港と洲本港とを結ぶ旅客船「深日洲本ライナー」社会実験を開始。以後、2018年度、2019年度と、3ヶ年連続で同社会実験を運航しており、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、2021年度から運航を再開した。2021年度、2022年度の運航に引き続いて、2023年度は5月から11月まで運航を予定している。
 - 岬町、洲本市、港湾管理者（大阪府、兵庫県）、近畿運輸局、神戸運輸監理部及び近畿地方整備局からなる「深日港洲本港航路に関する連携協議会」を2016年4月に設置し、航路再開に向けた課題抽出と、その解決に向けた検討を行っている。
- 実施主体：深日港洲本港航路に関する連携協議会（事務局：近畿地方整備局）
 - 活用事業：地方創生推進交付金（内閣府）



深日 - 洲本航路イメージ



利用者の乗船風景



2023年度 運航ポスター

本格再開のクルーズを安心して楽しめる環境整備

2023年3月から我が国への国際クルーズの運航が再開され、5月8日より国際クルーズ運航に関する関係業界団体のガイドラインが一部は廃止、一部は大幅緩和されたことを受け、国際クルーズ再開がいよいよ本格化することとなった。クルーズの安全な運航再開を通じた地域活性化を目指し、クルーズ旅客を効率的に受入れる施設の高度化やクルーズを安心して楽しめる環境づくりや新たな寄港地観光の促進に向けた取組への支援を実施する。

- 実施主体：港湾管理者、民間事業者等、連携：近畿地方整備局
- 活用事業：国際クルーズ旅客受入機能高度化 / 国際クルーズ旅客受入機能高度化施設整備
クルーズの安全な運航再開を通じた地域活性化事業
海洋周辺地域における訪日観光の魅力向上事業
港湾機能高度化施設整備費補助



国際クルーズ再開後の入港状況
(神戸港ダイヤモンドプリンセス号)



受入環境改善に向けた施設整備状況
(屋根付通路の整備)

地域ブランド展開支援事業

2025年の大阪・関西万博を好機ととらえ、12の支援モデル地域を選定し、地域のポテンシャルを活用した地域ブランド力を高め、地域が主体となって様々な関係者と連携した販路開拓、観光客の誘客等に向けた持続可能な取組の強化（地域ブランドエコシステム構築）を支援。12の支援モデル地域の魅力を発信するPR動画を作成し、観光情報発信アプリ等に掲載することにより、国内外の観光客の地域への誘客を図る。

- 実施主体：近畿経済産業局
- 協力機関：鯖江市、甲賀市、京丹後市、与謝野町、和束町、泉佐野市、西脇市、多可町、三木市、丹波篠山市、淡路市、洲本市、南あわじ市、奈良県、広陵町、和歌山県、和歌山市、関係団体等

Kansai's Regional Brands
Kansai limited twelve

丹波織物 (京都府) 和束茶 (京都府) 信楽焼 (滋賀県) 泉州タール (大阪府) 鯖江のめがね (福井県) 播州織 (兵庫県) 丹波篠山の黒大豆等 (兵庫県) 三木の酒米等 (兵庫県) 淡路島の食と香り (兵庫県) 奈良酒 (奈良県) 広陵くつした (奈良県) 和歌山ニット (和歌山県)

PR動画の画像抜粋

インバウンドを活かした地域産業振興支援

関西では、地方部の地域資源、伝統産業等にインバウンドの経済効果が行き渡っていないことが課題となっている中、タイ・マレーシア・インドネシアの現地旅行会社に対して、産業施設や地域ブランド等の体験型産業観光コンテンツ情報及びそれらを使った商品化ノウハウや差別化ポイントを伝える研修（現地セミナー・訪日研修）を実施することで、現地観光業界の人材育成と将来の売上拡大に寄与。大阪・関西万博を起点とした、外国人観光客の地方部への周遊を促進し、消費額増大による地域ブランドや伝統産業・企業への裨益を目指す。

- 実施体制：近畿経済産業局 / 一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）
- 協力機関：近畿運輸局、関西観光本部、関西経済連合会 他現地関係機関



体験型産業観光コンテンツの紹介動画 タイでの対面セミナーの様子

<https://www.youtube.com/watch?v=tVgzrw-xhoQ>

広域観光促進のためのインフラ整備

- 高規格道路のミッシングリンクの解消や暫定2車線区間の4車線化
- スマートインターチェンジの整備促進（※高速道路の平均インターチェンジ間隔は欧米諸国の平地部に比べて約2倍）
- 多様な交通モード間の接続を強化（バスタプロジェクトの推進） 神戸三宮

等

訪日外国人旅行者周遊促進事業費補助金

- 「万博プラス関西観光」商品造成事業（関西観光本部）【関西広域】
- 「万博プラス関西観光」商品の魅力発信事業（関西観光本部）【関西広域】
- 紀伊半島を中心としたルート整備事業（関西観光本部）
【和歌山県南部（熊野古道大辺路・南紀熊野ジオパークエリア）～三重県南部（東紀州・伊勢志摩エリア）】
- 「The Origin of Japan, KANSAI」関西のサスティナブル・ツーリズム推進事業（関西観光本部）【関西広域】
- 旅ナカ・安心サポート事業（関西観光本部）【関西広域】
- Re-DISCOVER HYOGO 兵庫の魅力再発見コンテンツ造成事業（公益社団法人ひょうご観光本部）
【兵庫県・神戸・阪神、播磨、但馬、丹波、淡路】
- ガイド育成を核とした地域探訪型サイクルツーリズム推進事業（公益社団法人ひょうご観光本部）【兵庫県内3地域】

等

インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業 ①

- 訪日外国人向け大津市の魅力（文化・食・景色）を満喫できるe-Bike、スポーツバイクを使ったサイクリングツアー造成事業（株式会社きゅうべえ）【滋賀県大津市】
- ゴールデンルートを活かしたorite米原プロジェクト（一般社団法人びわ湖の素DMO）【滋賀県米原市】
- 甲賀の城郭跡を活用した合戦体験アクティビティ「忍夜討」のインバウンド対応（一般社団法人 甲賀市観光まちづくり協会）【滋賀県甲賀市】
- 長寿県・滋賀の発酵を世界へ！ ～発酵するまち、高島。「発酵食」を極める旅～（株式会社平和堂）【滋賀県高島市】

等

インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業 ②

- 世界に向けた「365日のロケット観光」確立事業（一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会）
【和歌山県串本町・東牟婁郡那智勝浦町】
- 空から詣でる世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」高付加価値化事業
（一般社団法人高野山麓ツーリズムビューロー）【和歌山県かつらぎ町、高野町】

等

観光再始動事業

- 月音夜 平安神宮 名月コンサート ～秋の夜間ライトアップ特別拝観～（京都新聞ホールディングス）【京都府】
- 京都で新たに立ち上げる国際的音楽イベント KYOTOPHONIE Borderless Music Festival！
（一般社団法人KYOTOPHONIE）【京都府】
- 「Night view of the gods」神々の夜景～いにしへの月見船・龍燈伝説の復活と元伊勢むすひ詣り～夜の天橋立・阿蘇海再生プロジェクト（「海の京都」天橋立地区協議会）【京都府】
- インバウンド限定 VIPエクスペリエンスツアー（合同会社ユー・エス・ジェイ）【大阪府】
- 世界遺産二条城で音・舞・スポーツ「京都音楽村」西陣で食・体験「西陣TABI」～日本をもっと身近に～
（音楽村実行委員会）【京都府】
- この日この時間この場所だけの超特別企画！京都嵐山、水上プレミアムダイニングシアター！（嵐山保勝会）【京都府】
- 歴史と文化に溶け込む、これまでにない甚深な京都東山を味わう 八坂の塔とともに（バリューマネジメント株式会社）【京都府】
- 超富裕層が喜ぶ茶の湯と伝統工芸の世界を人間国宝から学ぶプレミアムツアーイベント事業（Eまちグループ株式会社）【京都府】
- 『世界遺産を貸切っての文化体験』×『日本屈指のトップシェフ料理体験』日本が誇る歴史と文化のクローズド・プレミアム体験
海外富裕層向け“THE LEGENDARY JAPAN”事業（THE LEGENDARY JAPAN KYOTO プロジェクト協議会）【京都府】
- Beyond 大阪・関西万博 大阪城の歴史に思いを馳せる大阪文化観光×MICEの推進（バリューマネジメント株式会社）
【大阪府】
- 岸和田だんじり祭り 棧敷席を活用したオールインクルーシブツアー（株式会社 TryHard Japan）【大阪府】

等

【人材で地域をつなげる】

これまで見逃されてきた地域資源を観光コンテンツとして活用していくため、観光地域づくりに従事している者、地域の魅力を良く知る者など、地域のステークホルダーによる人材ネットワーク構築を促進する。また、財源と人材に課題を抱えるDMOに対し、持続性のある観光地域づくりに取り組んでいける人材の育成を支援する。DMOを始めとする地域間の連携を促進し、旅行者を面的に受け入れられる環境を整備するために人材で地域をつなげる。

- 地域の観光に関連する様々な人材や業種等を連携させるネットワークの構築を図る
- コロナ禍によって喪失した地域や関係者のつながりやアップデートできていない地域情報の再構築を図る
- 観光コンテンツの造成に向けて、幅広い地域関係者による検討会の設置等を促進する

【2023年度事業】

大阪・関西万博に向けた関西全体のパビリオン化のための有識者検討会

【関西全域】

関西全体のパビリオン化に向けて、観光地域づくり、インバウンド受入、旅行商品造成など、多方面で観光に取り組む方々を招聘して、パビリオン化の方策や利便性の高い周遊を実現するための関西MaaSの活用方法、パビリオンとして想定される候補地の取組等について検討会を設置。

- ① 万博のテーマに関連した取組の促進や万博終了後も継続して実施していくための検討
- ② 関西MaaSとの連携及び活用方法等の検討
- ③ パビリオンとして想定される地域の取組検討

- 実施主体：近畿運輸局
- 活用事業：観光振興調査費

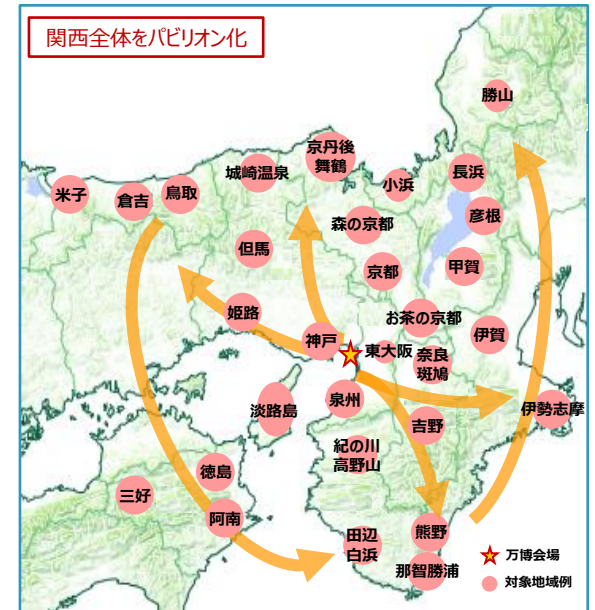
パビリオンの定義

パビリオンとは、万博への来訪者が関西全域へと周遊・滞在するための目的地

- ① 地域の中で楽しむ
- ② 地域を巡って楽しむ
- ③ 万博後も取組を継続

地域の特色を活かした楽しみ方が提供できる観光コンテンツ等を有する地域

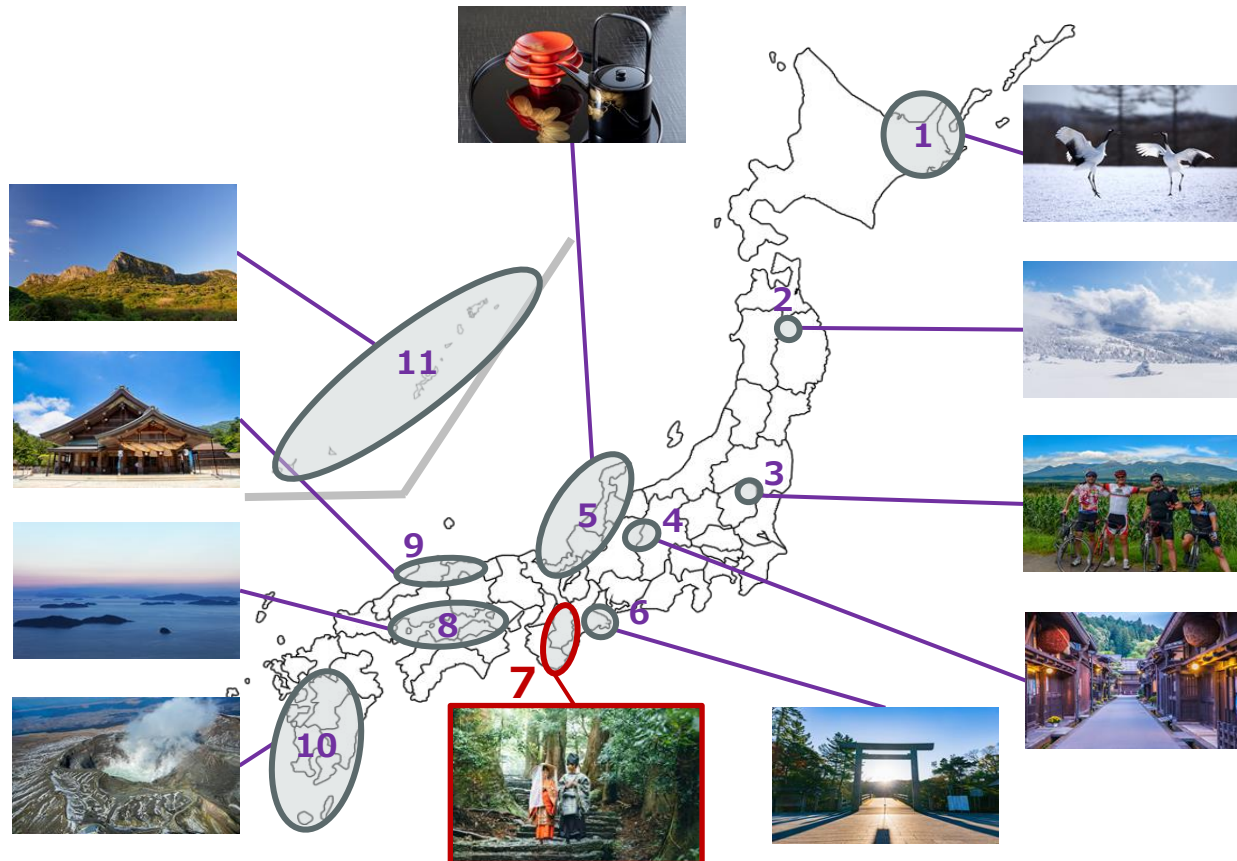
- 経路検索
- 運行情報
- 予約・決済機能
- 観光情報、施設情報
- サポート機能
- ・ 観光レコメンド機能
- ・ アプリの多言語化 等



地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり

【奈良県南部、和歌山県那智勝浦】

訪日外国人旅行者数は2019年に3000万人を超えていたが、旅行消費額は4.8兆円（2020年目標8兆円）であり、消費額を拡大するための取組強化が不可欠となっている。高付加価値旅行者層（着地消費100万円/人以上）は、訪日旅行者全体の約1%（29万人）に過ぎないが、消費額の約11.5%を占める。ただし、獲得シェアや地方への訪問率は大きいとは言えず、地方訪問を促すことによる地方創生への貢献が期待される。地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりを推進するため、全国にモデル観光地を11カ所選定し、これらの地域に対して総合的な施策を集中的に講じる。



モデル観光地	
1	東北海道
2	八幡平
3	那須及び周辺地域
4	松本・高山
5	北陸
6	伊勢志摩及び周辺地域
7	奈良南部・和歌山那智勝浦
8	せとうち
9	鳥取・島根
10	鹿児島・阿蘇・雲仙
11	沖縄・奄美

関西観光まちづくりコンサルティング事業

【2023年度：西宮市】

平成18年度より実施している本事業は、魅力ある観光まちづくりを通じた地域の活性化を促進するため、観光有識者や旅行者等のメンバーからなる「関西観光まちづくりアドバイザー会議」を設置して、地域が抱える課題やターゲット層、目指す方向性などを議論する。意見交換および現地視察を通して検討を進め、観光による地域活性化に向けた計画や取組のヒントになる助言等を取りまとめた「観光まちづくり提案書」を交付する。

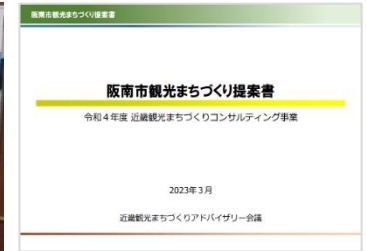
- 実施主体：近畿運輸局
- 活用事業：観光地域動向調査事業



アドバイザー会議



提案書交付式
(2022年度 阪南市)



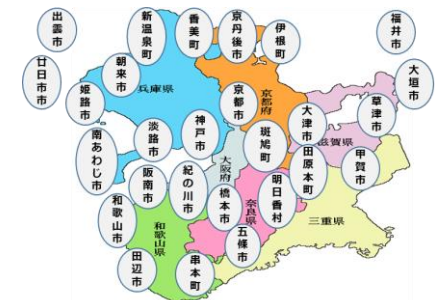
提案書
(2022年度 阪南市)

大阪関西万博をハブとした地方への観光誘客事業 ～まちブラ万博ネットワーク～

【関西全域】

2025年大阪関西万博の開催に合わせて関西を広く盛り上げるために地域間での観光ネットワークを構築。プラットフォームやDX環境、人材育成などを共同で実施することで、おもてなしの質の向上や来訪者の利便性向上を図っていく。各まちをまるごとパビリオンに見立て、「にほんもの体験」の開発やそれを組み込んだ滞在プランなども共同で企画する。そして2026年以降も「つながる・もてなす・商う」をテーマに「観光地経営」のノウハウを共有することで、持続可能な観光まちづくりを実現させる。

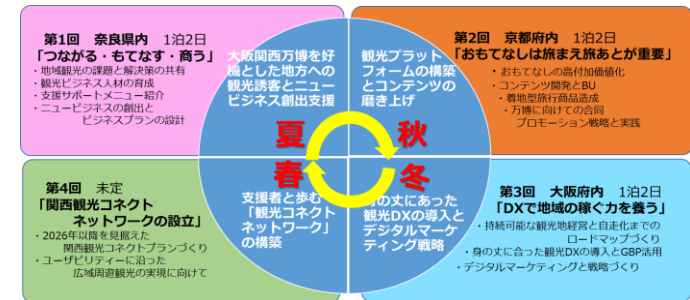
- 実施主体：まちブラ万博2025推進協議会
- 活用事業：観光振興調査費



kansai観光コネクト事業

観光地域づくりにおいて関係者の巻き込みやデータの収集・分析、民間的手法の導入の不足といった課題の改善に向けて、関西の観光地をつなぐ人材育成セミナーを「kansai観光コネクト事業」として開催する。具体的には、中小機構と近畿運輸局の支援ツール・支援メニューの紹介や活用の仕方、さらには各自治体や支援機関などの外部ネットワークとも有機的に連携しながら、ハイブリッド形式等により、データ活用や新サービスの開発、人材育成に資するセミナーを行う。

- 実施主体：独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部
- 活用事業：地域支援機関等サポート事業



キャラバン型セミナー開催案

【情報で地域をつなげる】

コロナ禍で変容している観光行動※に的確に対応するには、様々なデジタル技術等を活用した観光パラダイムシフトや観光DXの導入等を加速させる必要がある。そのために、従来とは違う新たな観光に向けてCRMシステムの導入によるデジタルマーケティングの実施など、観光関連産業の生産性向上に向けた取組を促進するなど情報で地域をつなげる。

※多人数から個人・少人数、対面サービスから非接触・非対面サービス、宿泊施設での部屋食や個室風呂の要望、パッケージツアーからSIT、周遊バスからパーソナルモビリティへの選択等

- 関西MaaSの利用促進（旅行者が容易に移動・観光情報入手でき、かつ、移動利便性が高まる「MaaS」の利用促進）
- 観光DXの推進による観光産業の生産性向上
- より少人数の旅行者に対応していくための高付加価値化によるサービス提供

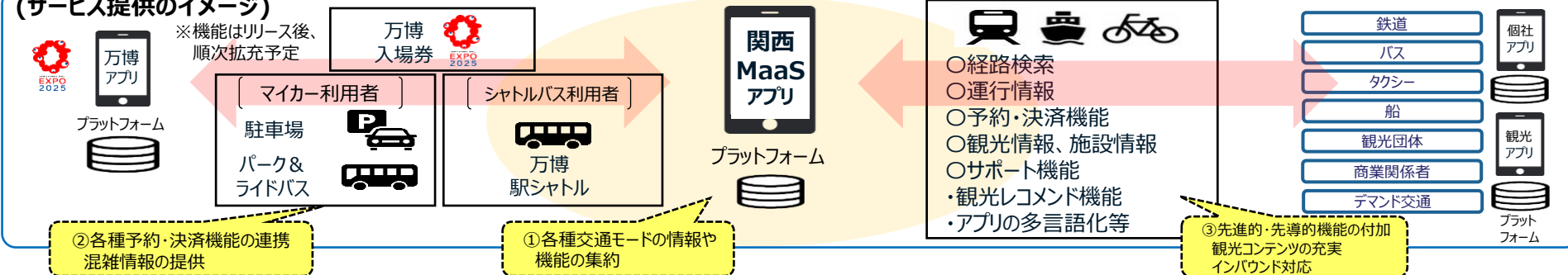
【2023年度事業】

関西MaaSの構築に向けた取組

- 2025年に大阪・関西万博を控える中、MaaSの取組に関して、交通・観光分野をはじめとする幅広い業種間での連携を促進し、取組を共同で実施することを目的として、官民による会議体「関西MaaS推進連絡会議」を設置（令和3年12月）
 - 令和4年11月8日、第2回推進連絡会議を開催し、
 - ・関西MaaSアプリについて、2023年夏頃に第1弾のリリースを予定していること
 - ・関西MaaSのサービス構築や運営を担い、鉄道事業者以外の事業者との連携を拡大するためのオープンな組織として「関西MaaS協議会」を設立することなどを発表
- ⇒関西MaaSを軸に、交通政策と観光政策を一体的に進めることで、関西全体の周遊性を大幅に向上させ、関西経済の活性化につなげる。



(サービス提供のイメージ)



京都駅における移動経路の分散化等による混雑緩和に係る実証事業

【京都府京都市】

「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」となり、主要観光地においてはインバウンドが回復しており、国内旅行者を含めた観光客の急激な増加によって、関西においても公共交通機関の混雑問題が再燃している。京都においてはコロナ禍前、京都駅と観光地を結ぶ一部バス路線における車内混雑が発生し、市民生活への影響が生じていたことから、京都市と連携して「移動経路の分散化」及び「手ぶら観光の推進」に関する実証事業を行う。期間中に設置する臨時手荷物預かり所においてアンケートを実施し、デジタル技術を活用したデータ収集、解析を通じて、観光客の行動変容等の分析を行い、京都を訪れる観光客の満足度向上を図る。

- 実施主体：近畿運輸局
- 活用事業：ポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業
(地方運輸局等実証事業)



海の京都データ交換所プロジェクト

【京都府福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町】

海の京都エリア（5市2町）は、日本三景「天橋立」といった唯一無二の自然景観や、伊根の舟屋・あやべぐんゼスクエアといった文化や歴史が息づく町並み、間人ガニ・舞鶴ガニを中心とした観光誘客に寄与するブランド食材があり、約400件の宿泊施設を有し、エリア全体で多様な旅行者ニーズに対応できる環境が整っている。一方で、閑散期・繁忙期の宿泊者数、観光消費額の乖離が大きいといったマーケティング課題や名所以外への周遊不足が課題のエリアがある中で、オーバーツーリズムが課題のエリアもあり、行政区ごとに異なる独自の課題がある。3つの方針（データプラットフォームの構築、CRMの高度化、データ活用推進体制の構築）のもと、海の京都コインを活用したふるさと納税寄附額の向上、デジタルマップを基盤とした顧客情報の収集、エリア内のデジタルタッチポイント統合とCRMへの集約化等の事業に取り組むことで、データを活かした地域で稼ぐサイクルを確立し、「行政区を超えた」海の京都エリア一体で稼ぐ観光地域づくりを目指す。

- 実施主体：海の京都観光DX推進協議会
- 活用事業：事業者間・地域間におけるデータ連携等を通じた観光・地域経済活性化実証事業

「道頓堀IoTゴミ箱設置によるインバウンド受入環境整備高度化計画

【大阪府大阪市】

1日5万人の観光来訪があり、訪日外国人旅行者の訪問者数が大阪No.1の観光エリアである道頓堀は、「食べ歩き」などの地域特性によりポイ捨てゴミの散乱が目立つ。また、道頓堀来訪の外国人旅行者へのアンケート調査では、約8割以上の方がポイ捨てゴミを不快に感じていて、ゴミ箱の少なさが来訪者の困りごとの最上位であり、ゴミ対策が地域運営の最重要課題となっている。2025大阪・関西万博並びにコロナ禍脱却の社会情勢を踏まえ、今後急増見込みの外国人旅行者の旅行環境向上に向けてIoTゴミ箱設置と地域運用によるポイ捨てゴミ削減を実現する。

- 実施主体：道頓堀商店会
- 活用事業：訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金
(インバウンド受入環境整備高度化事業)



散乱しているゴミ



ゴミ箱設置



スマホによるゴミ蓄積量確認
& アラーム通知
→ゴミ箱からゴミが溢れない
地域運用

【交通で地域をつなげる】

観光に欠かすことのできない移動手段について、地域間・地域内の移動利便性の向上を図るとともに、ラストワンマイルの課題解消に取り組む。また、観光列車や観光クルーズ等、移動を目的とした特別な観光コンテンツの造成に取り組み、地域と交通事業者の連携促進により交通で地域をつなげる。

- 二次交通の課題解消に向けた新たなモビリティサービスやラストワンマイル・モビリティの拡充の検討
- 観光列車・観光クルーズ・観光バス等、移動をテーマにした観光コンテンツの造成

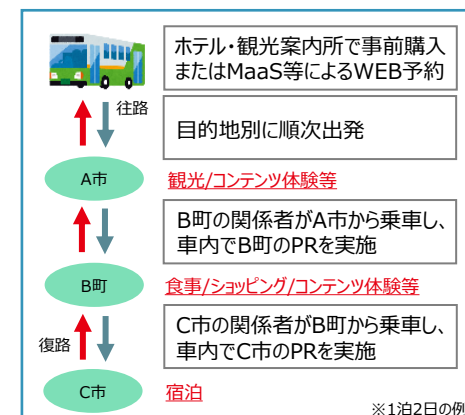
【2023年度事業】

関西広域周遊バスツアーの商品造成に向けた実証事業

【関西全域】

訪日旅行において、団体旅行やツアーを利用することなく個人手配で旅行をするFIT (Foreign Independent Tour) が増加して久しく、2019年の訪日FITは72.6% (※JNTO訪日旅行データハンドブック2021年) に上る。一方で、言語の壁によるコミュニケーションの問題や交通機関利用方法の複雑さ等によって、個人手配では行きたい場所へ行けずに諦めているという声が多く上がっている。また、都市部に比べ地方部では、運行本数や案内の少なさ等から個人で鉄道や路線バスを乗り継ぐ移動は難しく、旅先での食事やショッピング、宿泊等の情報も少ないことから、それら全てが含まれるパッケージ型のオールインワンオプションバスツアーへのニーズが高まっている。そのため、地域間のシームレスな移動手段として関西を周遊するバスツアー等の造成を促進していく。

- 実施主体：近畿運輸局
- 活用事業：ポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業 (地方運輸局等実証事業)



地域間を移動するバスツアーのイメージ

加西市平和ツーリズム推進事業～サイクルトレインを活用した周遊型観光ルートの確立～

【兵庫県加西市】

加西市にある鶉野飛行場跡は、平和学習の場として修学旅行など団体客が増加している。本事業では飛行場跡を加西市の入り口とし、市内各地を周遊してもらえるような仕組みを構築していく。具体的には、鶉野フィールドミュージアムをレンタサイクルで体験してもらい、ローカル線「北条鉄道」をサイクルトレイン対応とすることで市街地への周遊を促進するとともに、北条鉄道の運転体験や杉玉作り体験等の地域独自の観光コンテンツと組み合わせることで、旅行者の地域内観光消費単価を増加させ、観光産業全体の活性化を目指す。

- 実施主体：兵庫県加西市
- 活用事業：インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業



北条鉄道運転体験



soraかさい

事業者協力型自家用有償旅客運送 紀の川モデル実証事業外国人観光客のための「紀の川ぐるっと満喫」ツアー

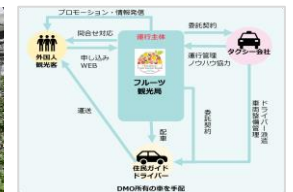
【和歌山県紀の川市】

外国人観光客に限定した事業者協力型自家用有償旅客運送の実証事業を開始する。事業者協力型自家用有償旅客運送制度を活用したインバウンドに向けた観光二次交通改善施策は他にはなく、本事業がその第一の事例である。昨年度までにモニターツアーを実施したツアーの販売を開始する環境を整備し、本格的な受入を開始する。新たに外国人向けの、地域の特産品であるフルーツを活用した体験、食コンテンツを磨き上げ、季節ごとのフルーツをめぐるツアーを開発する。

- 実施主体：一般社団法人紀の川フルーツ観光局
- 活用事業：インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業



モニターツアー（昨年度）



実証事業イメージ

天橋立サンセットSUSHIクルーズ事業

【京都府宮津市】

天橋立を舞台に、外国人旅行者の誘客加速の大きなカギとなる「和食」というコンテンツを使い、2023年大型新造船内で特別な体験を提供する唯一無二の特別クルーズの運航を実施する。宮津の新鮮魚介を使った「鮨」を船内設置の「SUSHIカウンター」で味わい、通訳ガイドが同乗することで「外国人旅行者×職人」の交流の機会を創出する。また、宮津の地酒が堪能できる「宮津BAR」も設置し、特別な夕方貸切クルーズで極上の時間を提供。地産地消に徹底的にこだわり、地域で循環させていく持続可能な観光コンテンツを目指す。

- 実施主体：丹後海陸交通株式会社
- 活用事業：インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業



就航予定の新造船



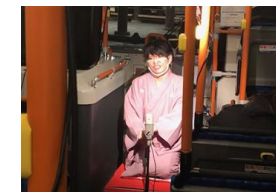
SUSHIカウンターのイメージ

山陰・北近畿モビリティネットワーク事業

【兵庫県豊岡市、新温泉町】

京都府北部から兵庫県北部、鳥取県にまたがる広大なエリアは、エリアを超えた移動が課題。本事業で、訪日外国人にも利用しやすいエリア間直通バスの運行や3府県にある事業者が連携した多言語対応ドライバーによるローカルスポットを巡る個人型ツアー、既存乗車券などをとりまとめ広域エリアを周遊できる企画乗車券の販売を実施する。また、実証期間中のイベントと連携し、バスと演劇、地元食材を絡めた「演劇バス」「日本酒バス」などの運行にも取り組む。交通機関と関係者の連携を深め、本事業を通じて定期的な交通アクセスの整備へと繋げていき、公共交通機関でストレスフリーな輸送体制の構築を目指す。

- 実施主体：全但観光株式会社
- 活用事業：インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業



演劇バスの様子



実証エリアのイメージ

サイクルトレインを活用した観光周遊促進

【京都府舞鶴市、宮津市、京丹後市、与謝野町】

海の京都エリアは日本三景天橋立をはじめ風光明媚な景色や伝統文化等魅力的な観光資源に恵まれており、観光列車やラッピング列車等への乗車や、サイクルトレインを活用した観光周遊を促進することで、鉄道を通じさらなる観光地の魅力向上と集客増を図り、人の移動及び観光地の活性化を目指す。

- ①観光列車等を活用した特別なイベントの開催
- ②サイクルトレインのプロモーション強化
- ③ラッピング列車の運行
- ④企画乗車券の造成

- 実施主体：WILLER TRAINS株式会社
- 活用事業：地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化（交通・観光連携型事業）



サイクルトレイン

オープントップバスによる大阪周遊観光バスの実証運行

【大阪府大阪市】

大阪市内は地下鉄や路線バス等により公共交通網は整備されているものの、乗り換えや手荷物の持ち運びについての課題があるため、観光地を周遊する観光バスにより利便性向上を図る。また、従来の定期観光バスや周遊バスは車窓等からの景観観光が中心であり、観光施設入場、飲食等による観光消費が少なかったことから、当運行では観光地で一旦降車してもらうことで消費の促進につなげ、さらに夜景やライトアップされた建築物等で夜間の観光素材が充実している大阪市内を周遊する新たなコンテンツを造成し実証運行を行う。

- ①大阪観光局の知見を活かしたルート等の設定
- ②2階建てバス1台（実施主体所有）をオープントップバスへ改造及び旅行気分の高揚につながるラッピング
- ③大阪・関西万博を見据え、訪日客（特に多い中国・台湾・韓国等）をメインターゲットに据え、車内でも楽しめるガイドシステム等のコンテンツも導入（音声・活字による案内）
- ④SDGsに向けた取り組みとしてバイオ燃料を使用して運行

- 実施主体：西日本ジェイアールバス株式会社 / 大阪観光局
- 活用事業：地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化（交通・観光連携型事業）



車両イメージ

コミバス、乗合タクシーを活用した町内周遊促進事業

【兵庫県神崎郡福崎町】

日本民俗学の父柳田國男生誕の地である福崎町では、柳田國男が研究した妖怪を活かしたまちづくりを進めている。コミュニティーバス「サルビア号」の車両更新に合わせ、妖怪を活かしたまちづくりの象徴となる妖怪ベンチのイラストをフルラッピングの上、利用促進及び周遊観光の促進を目的にスタンプラリー券付き1日乗車券を企画。また、「旅マエ」を重視したプロモーションとして、乗合バスHP部門を観光バージョンに刷新するプロモーション事業を実施する。タクシー事業ではEVタクシーを導入し、JR福崎駅から町内及び宿泊施設であるNIPPONIA「播磨福崎蔵書の館」と連携したラッピング観光タクシー事業の展開を行う。



ラッピングイメージと周遊促進企画

- 実施主体：神崎交通株式会社 / 福崎町 / 福崎町観光協会 等
- 活用事業：地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化（交通・観光連携型事業）